

令和 4 年度

教育の実践と評価

行政基礎資料



小野市教育委員会

目 次 contents

令和4年度 教育委員会主要事業	1
小野市の学校	
1. 特色ある学校教育予算の推移	2
2. 幼稚園園児、小・中・特別支援学校児童生徒、学級数	3
3. 新入学予定児童生徒数	4
4. 就学前児及び外国人児童生徒の状況	5
5. 不登校児童生徒数の推移及び出現率	6
6. いじめ問題への対応	7
7. 就学援助及び奨学金等の状況	8
8. 教職員の状況	9
9. ハートフルチャレンジおの検定	12
10. 脳科学と教育	13
11. 食育の推進状況	15
12. 学校給食の状況	16
13. 16 か年教育推進事業	17
14. 幼稚園、小・中・特別支援学校 施設一覧	20
15. 学校施設整備事業	21
小野市のスポーツ等	
16. 児童生徒の体力の状況	22
17. ハートフルチャレンジおの体力検定結果	23
18. 学校管理下における災害	24
19. ウォーキング事業・スポーツクラブ 21・スポーツ少年団活動状況	25
20. スポーツ施設利用状況	26
21. 小野ハーフマラソン開催結果	27
小野市の文化	
22. 市民版おの検定	28
23. 小野市詩歌文学賞・上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」	29
24. 図書館の概要及び利用状況	30
25. コミュニティセンター等利用状況	31
26. コミュニティセンター事業	32
27. コミセンの寺子屋の実施状況	33
28. あお陶遊館アルテの概要及び利用状況	34
29. 好古館・広渡廃寺跡歴史公園の概要及び利用状況	35
その他	
30. 新型コロナウイルス対策実績	36
総合評価	39
学校危機管理（事件・事故）連絡体制	43

令和4年度 教育委員会主要事業

事業名

学校教育課

ハートフルチャレンジおの検定（漢字・計算・英語）

脳科学と教育

16か年教育推進事業

小中一貫教育推進事業

学力向上教育推進事業

GIGAスクールプロジェクト

教育総務課

学校施設長寿命化対策事業

学校施設整備事業

スポーツ振興課

学校保健推進事業

・ハートフルチャレンジおの体力検定

生涯スポーツ推進事業

・ハートフルウォーキング事業

・小野ハーフマラソン開催事業

いきいき社会創造課

市民版おの検定事業

小野市詩歌文学賞・上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」

図書館利用サービス事業

コミュニティセンター事業

あお陶遊館アルテの教室・講座開催事業

好古館の文化財保存活用地域計画策定事業

1. 特色ある学校教育予算の推移

学校教育関係費決算状況

年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
特色ある学校（億円）	0.7	0.8	1.0	0.9	1.0	1.2	1.7	1.7	2.4	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	2.7	2.9	2.5	2.5
教育費全体（億円）	14.2	13.9	15.1	15.2	15.3	15.3	16.4	17.1	18.2	17.5	21.1	24.0	16.1	17.5	14.6	14.9	14.8	15	18.6	27.1	17.5	18.7	26.8	22.5
教育費全体に占める特色ある学校教育費の割合	5.1%	5.7%	6.8%	6.0%	6.8%	7.6%	10.3%	9.9%	13.0%	14.3%	11.8%	10.0%	14.9%	13.7%	15.1%	14.8%	14.9%	15.4%	12.4%	8.6%	15.4%	15.5%	9.3%	11.1%

4億円
耐震含む

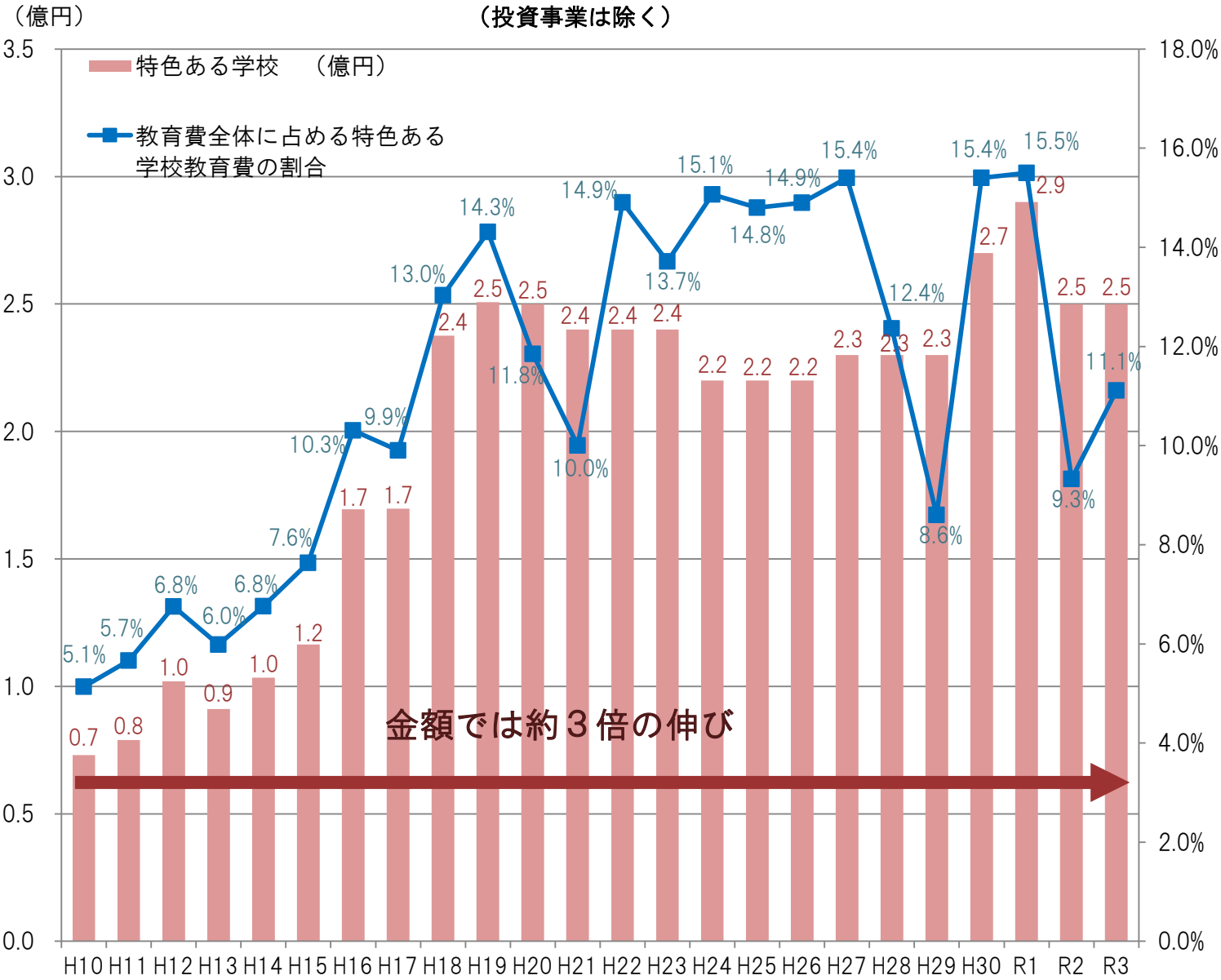
7億円
耐震含む

空調設備
整備含む

給食センター
整備事業含む

小野南中学校
改修工事含む
GIGAスクール
整備含む

特色ある学校教育予算の推移
（投資事業は除く）



金額では約3倍の伸び

主 な 教 育 施 策 等

平成16年度	川島隆太 脳科学理論によるおの夢と希望の教育開始
平成17年度	おの検定（漢字・計算・体力）、小中連携教育、小学校高学年教科担任制
平成18年度	16か年教育（未来のパパママ教室、7か月児教室、子育て支援教室）
平成20年度	全小学校にALT配置、ステップアップ学生サポート事業
平成24年度	ICT教育（機器の拡充は21年度から3年間）
平成29・令和元年度	おの検定（中学校英語開始）、タブレット端末活用特別支援教育
令和2～3年度	小・中学校パソコン教室パソコン等更新 小野市型GIGAスクールプロジェクト推進

2. 幼稚園園児、小・中・特別支援学校児童生徒、学級数

令和4年5月1日現在

(上段：人数 下段：学級数)

■ 小学校

項目 学校	通常学級								特別支援学級						合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	男女 計	知的	自情	肢体	病弱	男女 計			
小野小	89	72	93	82	85	88	264 245	509	7	13	1		16 5	21	530
	3	3	3	3	3	3		18	1	2	1			4	22
小野東小	95	119	95	106	125	92	327 305	632	11	18			16 13	29	661
	3	4	3	4	4	3		21	2	3				5	26
河合小	38	43	29	39	35	42	113 113	226	5	6			9 2	11	237
	2	2	1	2	1	2		10	1	1				2	12
来住小	19	17	21	26	18	26	69 58	127	3	5			4 4	8	135
	1	1	1	1	1	1		6	1	1				2	8
市場小	54	50	44	65	56	74	167 176	343	2	3			4 1	5	348
	2	2	2	2	2	2		12	1	1				2	14
大部小	46	53	53	51	60	55	170 148	318	5	7	1		11 2	13	331
	2	2	2	2	2	2		12	1	1	1			3	15
中番小	15	16	17	26	16	26	63 53	116	4	4			5 3	8	124
	1	1	1	1	1	1		6	1	1				2	8
下東条小	18	9	22	19	26	16	63 47	110	1	4			3 2	5	115
	1	1	1	1	1	1		6	1	1				2	8
合 計	374	379	374	414	421	419	1,236 1,145	2,381	38	60	2		68 32	100	2,481
	15	16	14	16	15	15		91	9	11	2			22	113

■ 中学校

(上段：人数 下段：学級数)

項目		通常学級					特別支援学級						合計			
学校	7年	8年	9年		男女	計	知的	自情	肢体	難聴	男女	計				
小野中	198	242	225		356	665	7	8			13	15	680			
				309	2											
	5	7	6		18						1			1		2
河合中	24	42	38		40	104	2	2			4	4	108			
				64										2	6	
	1	2	1		4						1			1		2
小野南中	113	84	97		146	294	1	3			3	4	298			
				148										1	2	11
	3	3	3		9						1			1		2
旭丘中	92	104	125		183	321	2	11			10	13	334			
				138										3	3	13
	3	3	4		10						1			2		3
合 計	427	472	485		725	1,384	12	24			30	36	1,420			
				659										6	9	50
	12	15	14		41						4			5		

■ 特別支援学校

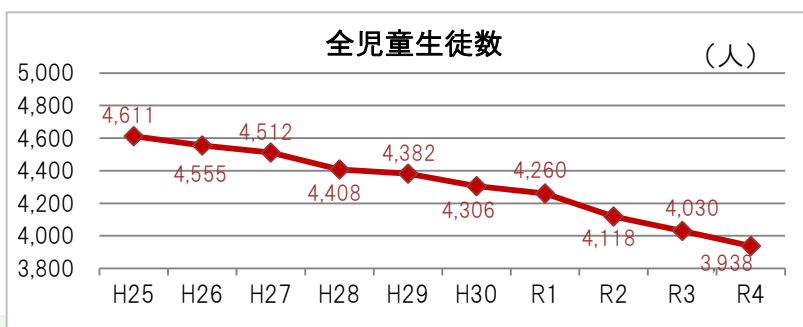
(上段：人数 下段：学級数)

項目		小 学 部							中 学 部					合計
学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	男女 計	7年	8年	9年	男女 計			
小野特別支援	4	4	2	2	6	9	19 8	27	3	3	4	7 3	10	37
	単一学級		7	重複学級		2	9	単一	3	重複	1	4	13	

■ 幼稚園

(上段：人数 下段：学級数)

園 項目	4歳児	5歳児	男女 計	合計
わか松幼	10	12	8 14	22
	1	1		2
小野東幼	10	17	10 17	27
	1	1		2
合 計	20	29	18 31	49
	2	2		4



3. 新入学予定児童生徒数

令和4年4月1日現在

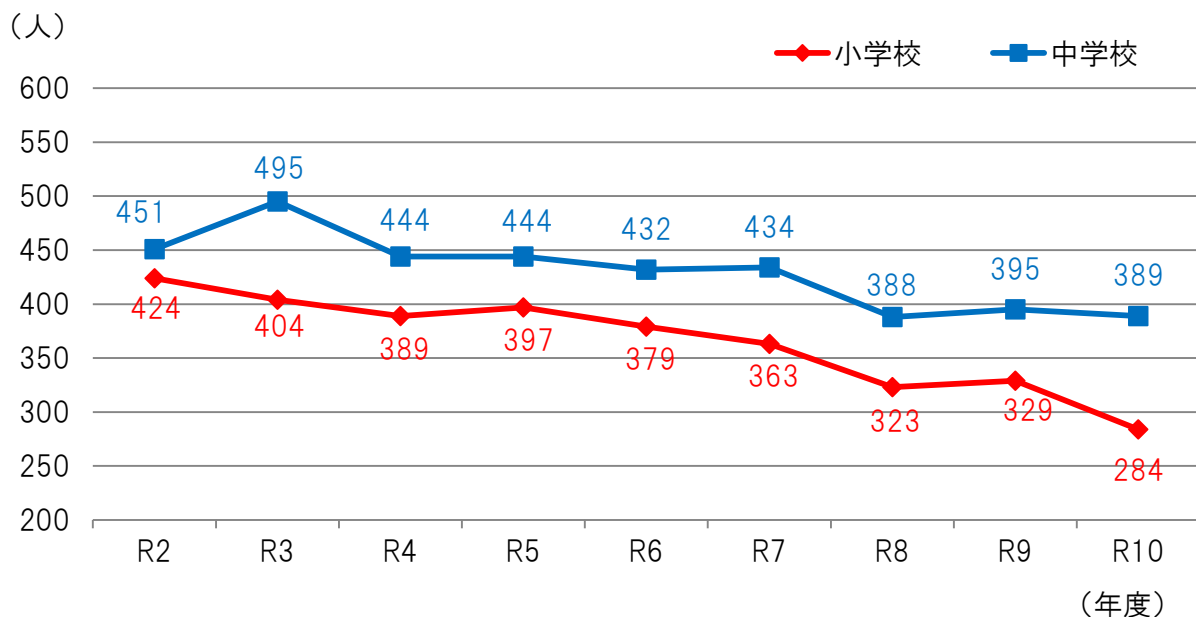
■ 小学校

		(人)						
中学校区	小学校名	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
小野中	小野小	94	80	91	74	79	75	80
	小野東小	96	121	113	119	96	102	75
河合中	河合小	40	44	41	37	32	36	31
小野南中	来住小	19	14	10	14	11	10	9
	市場小	54	54	54	49	39	46	38
旭丘中	大部小	48	47	39	52	42	37	34
	中番小	17	20	17	6	11	12	9
	下東条小	21	17	14	12	13	11	8
合 計		389	397	379	363	323	329	284
(参考) 大島町選択区域		14	19	13	11	10	17	7

※大島町選択区域の65%を小野小に35%を市場小に加算

■ 中学校

		(人)						
中学校名		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
小野中		204	194	214	198	195	200	190
河合中		25	45	36	40	31	45	40
小野南中		115	103	76	94	67	70	73
旭丘中		100	102	106	102	95	80	86
合 計		444	444	432	434	388	395	389

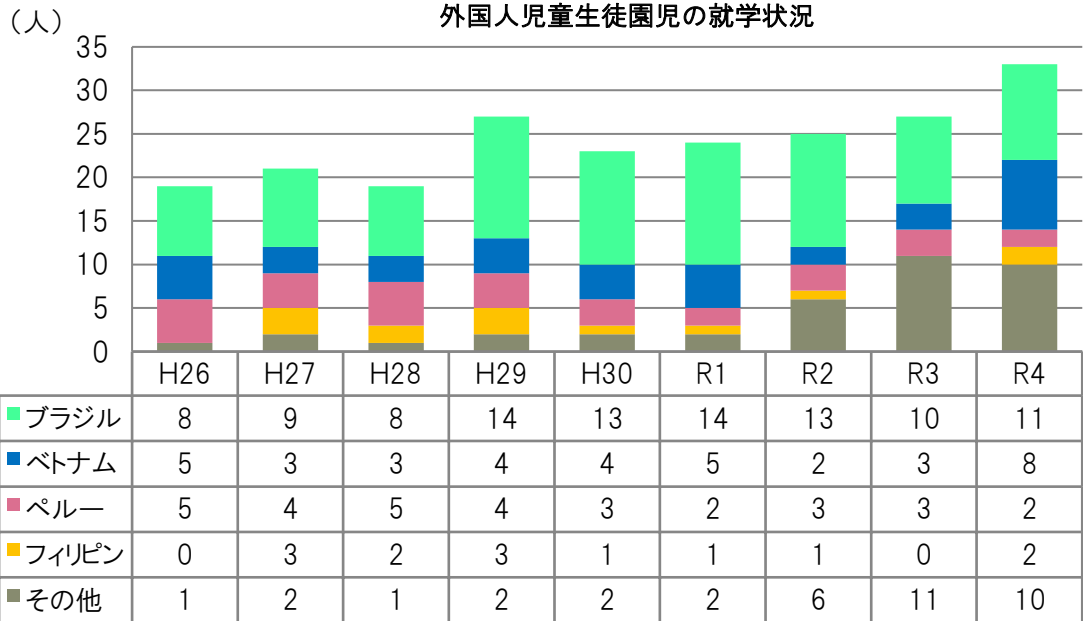


4. 就学前児及び外国人児童生徒の状況

(1)就学前児の就園状況 令和4年4月1日現在

項目	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合 計
幼稚園計 ①					25	37	44	106
率 ①／④ (%)						9.7	11.0	-
わか松幼稚園						10	12	22
小野東幼稚園						10	17	27
兵教大附属幼稚園				4	4	4		12
栗生こども園（幼稚部）				5	4	6		15
市場こども園（幼稚部）				3	1	2		6
北辰こども園（幼稚部）				3	4	2		9
中央こども園（幼稚部）				3	0	0		3
白百合こども園（幼稚部）				6	3	0		9
市外こども園（幼稚部）				1	1	1		3
保育所計 ②		37	192	236	292	333	350	1,440
率 ②／④ (%)		13.0	58.4	73.1	79.6	86.9	87.3	-
亀鶴保育所		4	15	18	18	25	17	97
中央こども園（保育部）		2	11	16	19	11	19	78
栗生こども園（保育部）		4	13	19	19	20	23	98
みやま保育園		0	2	4	2	5	2	15
下東条中央保育園		2	12	12	16	14	15	71
下東条西保育所		1	18	17	18	23	25	102
小野ひまわり保育所		3	10	16	17	20	21	87
白百合こども園（保育部）		2	20	25	30	33	33	143
市場こども園（保育部）		5	15	20	23	26	24	113
北辰こども園（保育部）		1	12	16	23	25	27	104
光明保育所		1	7	5	12	9	19	53
小野保育所		4	24	26	47	55	57	213
育ヶ丘保育園		2	16	15	22	26	25	106
来住保育所		2	12	21	23	35	33	126
市外の保育園		1	2	0	0	0	0	3
市外 保育部		3	3	6	3	6	10	31
その他計（未就園等） ③		247	137	87	50	13	7	541
率 ③／④ (%)		87.0	41.6	26.9	13.6	3.4	1.7	25.9
住民基本台帳人口 ④		284	329	323	367	383	401	2,087
市外からの市内保育園入園者		0	7	12	9	11	14	53

(2)外国人児童生徒園児の就学状況 令和4年5月1日現在

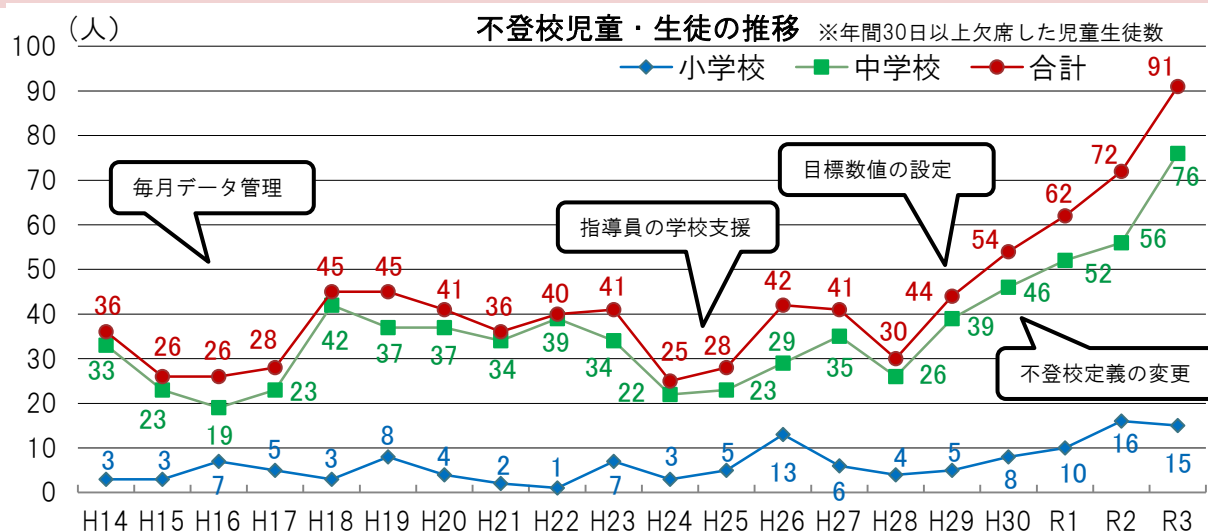


5. 不登校児童生徒数の推移及び出現率

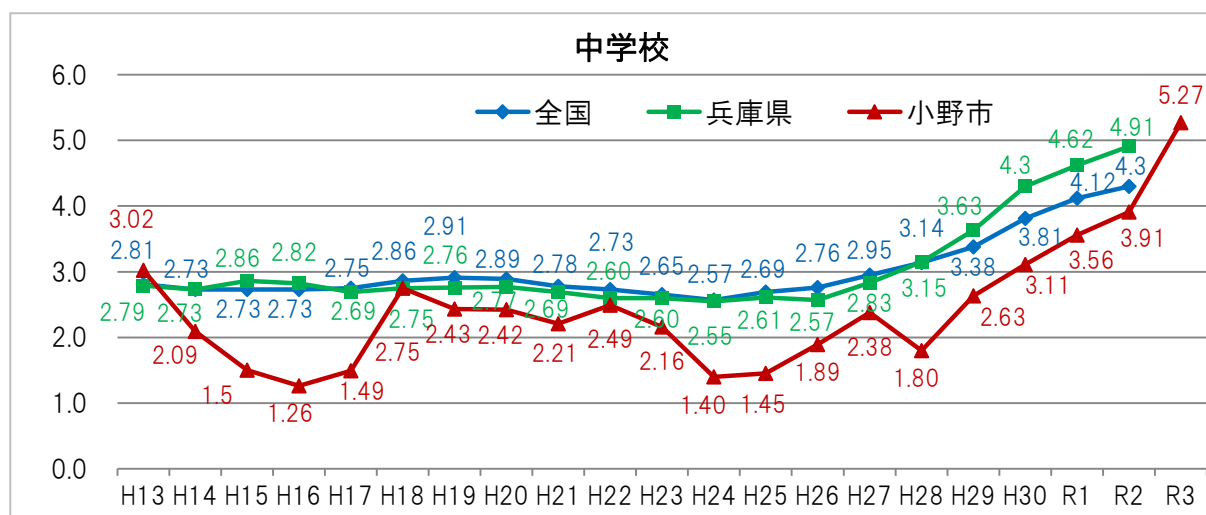
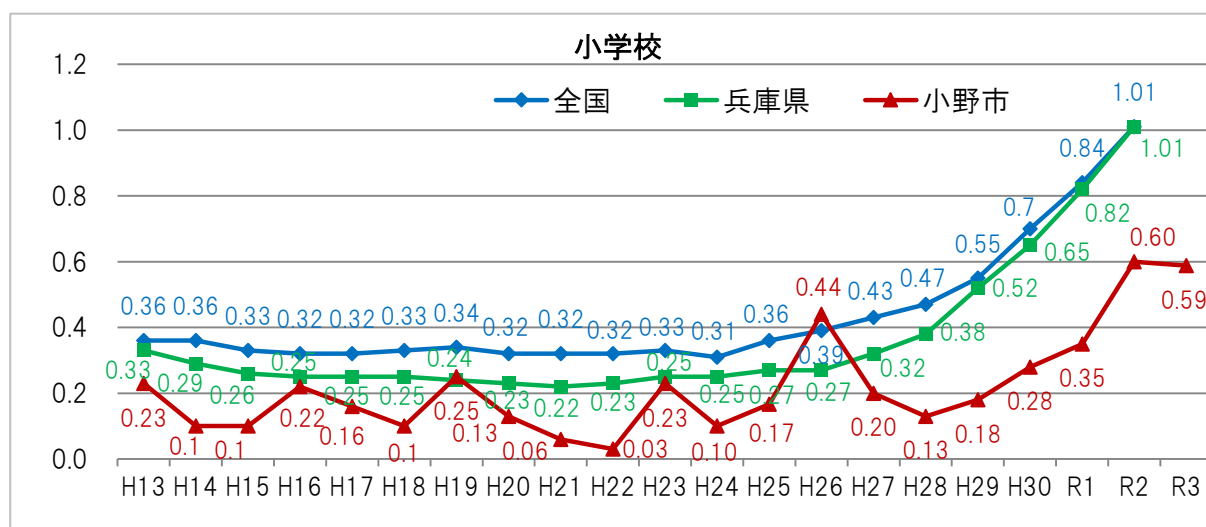
変遷：平成13年度～

目的：小中連携による不登校対策に取り組み、未然防止、学校復帰、適応教室復帰、不登校ゼロを目指す。

(1) 不登校児童生徒数の推移



(2) 不登校児童生徒の出現率(全国・県・小野市)



6. いじめ問題への対応

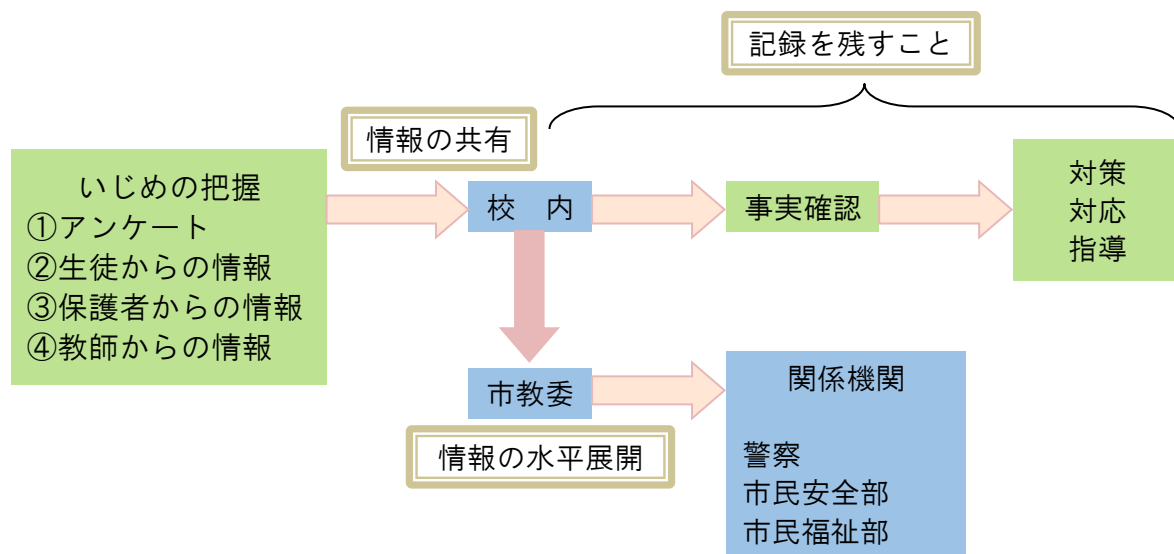
(1) いじめ問題への対応

○校内での対応

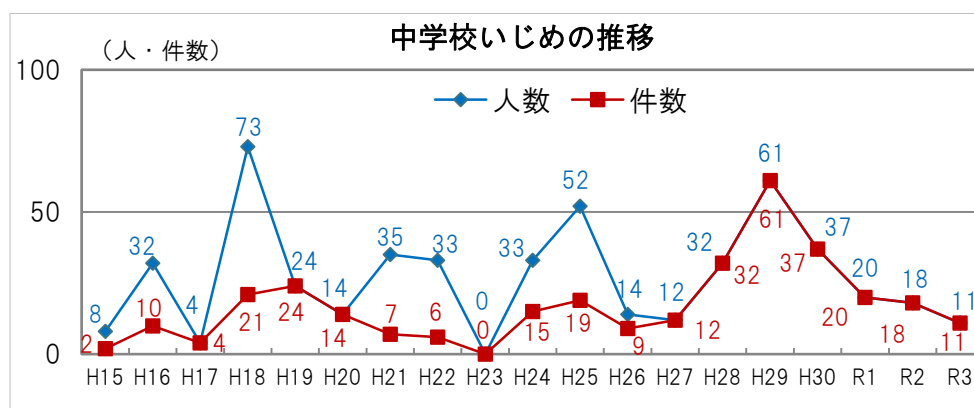
情報共有シートを活用し、
情報の記録化
情報の共有化
組織的な対応を進める。

○学校と教育委員会及び関係機関等との連携

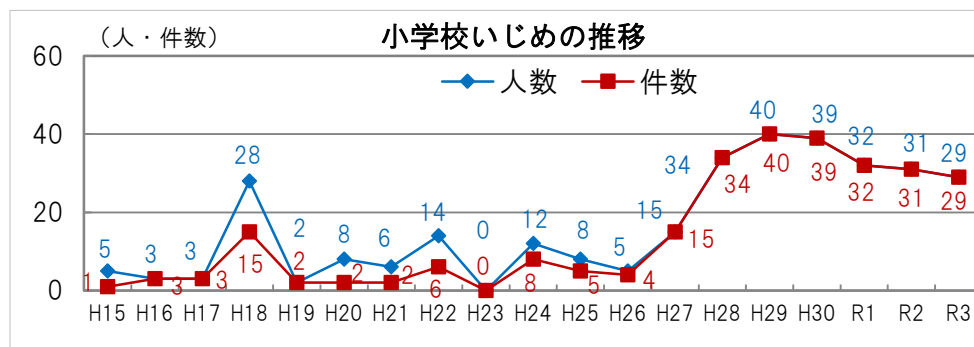
小野市いじめ等防止条例の趣旨にのっとり、条例に掲げられている事案が発生した場合、直ちに「小野市いじめ等防止条例に係る報告書」により、「学校」→「小野市教育委員会」→「市民安全部ヒューマンライフグループ」へと情報が共有され、必要に応じて学校の対応を支援する。



(2) いじめ問題への対応数の推移



いじめの疑いがあるとして対応した件数と延べ人数。
 未然防止、早期発見、早期対応及び関係機関との連携による対応を実施。



いじめの定義変更
 H19.1.19

「小野市いじめ等
 防止条例」施行
 H20.4.1

7. 就学援助及び奨学金等の状況

(1) 就学援助費認定者数

令和4年3月31日現在

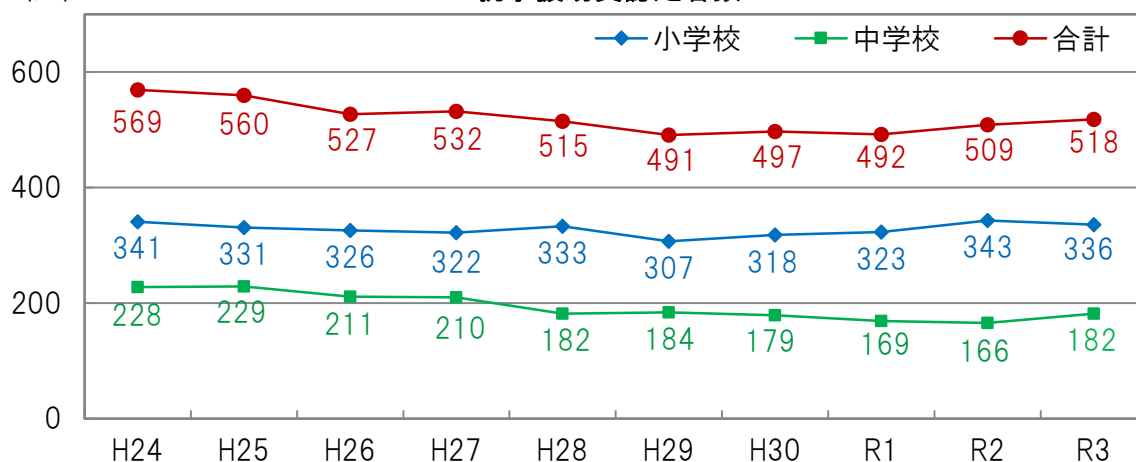
小学校及び中学校に就学する児童及び生徒の保護者に対し、教育に係る費用の一部を援助し、義務教育の円滑な実施に資する。

(人)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	341	331	326	322	333	307	318	323	343	336
中学校	228	229	211	210	182	184	179	169	166	182
合計	569	560	527	532	515	491	497	492	509	518

(人)

就学援助費認定者数



中学校区毎の就学援助費認定者数



(2) 勤労学生育成補助金

市内に在住する勤労学生の学用費を支援する。対象校は、小野工業高等学校定時制のみとする。

(実績) 支援生徒数：H25/15人、H26/15人、H27/13人、H28/13人、H29/10人

支援内容：各年1人あたり年額1万円給付 ※H30年度より廃止

(3) 高校教育奨励金

市内に在住する高等学校、高等専門学校、及び特別支援学校高等部等の生徒に対し、学用費の一部を、一定の条件に基づき支援する。

(実績) 支援生徒数：H25/34人、H26/35人、H27/34人、H28/24人、H29/18人、H30/19人、R1/18人

支援内容：各年とも1人あたり月額7千円給付 ※R2年度より廃止

(4) 特別支援学級就学奨励費

市内の小・中学校の特別支援学級に就学する児童生徒に対し、学用費の一部を支援する。

(実績) 支援児童生徒数：H25/31人、H26/37人、H27/32人、H28/39人、H29/42人、H30/52人、R1/63人、R2/64人、R3/54人

支援内容：給食費及び学用品費等の給付

8. 教職員の状況

(1)教職員の配置状況

令和4年5月1日現在

(人)

学校名	項目	校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護	栄養	事務	本定臨	計	非常勤	S A	介助員	校務員	合計
小学校	小野小	男			1	9		1	教1	12					12
		女	1	1		17	1			20	3	3	1		27
		計	1	1	1	26	1	1	1	32	3	3	1		39
	小野東小	男		1	1	9			教1	12					12
		女	1		1	21	1	1		25	2	2		1	30
		計	1	1	2	30	1	1	1	37	2	2		1	42
	河合小	男				4		1		5					5
		女	1	1	2	9			教1	14	1	1			16
		計	1	1	2	13		1	1	19	1	1			21
	来住小	男	1	1		3		1		6		1			7
		女			1	4	1		教1	7	1				8
		計	1	1	1	7	1	1	1	13	1	1			15
	市場小	男		1	1	9				11		1			12
		女	1		2	8	1	1		13					13
		計	1	1	3	17	1	1		24		1			25
	大部小	男	1			7				8					8
		女		1	2	11	1	1		16		1	1		18
		計	1	1	2	18	1	1		24		1	1		26
	中番小	男	1		1	1			教1	4	1				5
		女		1	1	5	1	1		10	1	1			12
		計	1	1	2	6	1	1	1	14	2	1			17
	下東条小	男	1	1		2			教1	5	1				6
		女			2	4	1		事1	8	1	1			10
		計	1	1	2	6	1		2	13	2	1			16
	合 計	男	4	4	4	44		3	4	63	2	2			67
		女	4	4	11	79	7	4	3	113	9	9	2	1	134
		計	8	8	15	123	7	7	7	176	11	11	2	1	201
中学校	小野中	男	1	1	4	16				22	2				24
		女				13	1	2	教2	18	1	1			20
		計	1	1	4	29	1	2	2	40	3	1			44
	河合中	男	1	1	1	5			教1	9	1				10
		女				5	1	1		7	2			1	10
		計	1	1	1	10	1	1	1	16	3			1	20
	小野南中	男	1	1	1	8			教1	12	1				13
		女			1	9	1	1		12	1				13
		計	1	1	2	17	1	1	1	24	2				26
	旭丘中	男	1	1		10			教1	13					13
		女			2	10	1	1		15		1			16
		計	1	1	2	20	1	1	1	28		1			29
	合 計	男	4	4	6	39			3	56	4				60
		女			3	37	4	5	2	52	4	2		1	59
		計	4	4	9	76	4	5	5	108	8	2		1	119
小野特別支援学校	男	1	1	2	7				教1	12					12
	女			1	12			1	栄1・教3・事1	19			3		22
	計	1	1	3	19			1	6	31			3		34
総合計	男	9	9	12	90			3	8	131	6	2			139
	女	4	4	15	128	11	2	10	10	184	13	11	5	2	215
	計	13	13	27	218	11	2	13	18	315	19	13	5	2	354
幼稚園	園名	項目	園長	教諭	講師	校務	SA	合計							
	わか松幼	男	1					1							1
		女		3				1							4
		計	1	3				1							5
	小野東幼	男													4
		女	1	2	1										4
	合 計	計	2	5	1		1	9							9

※枠外定員は本年度はなし
※「SA」とはスクールアシスタントの略

○別に初任研に係る非常勤300時間2名配置
○別に初任研に係る非常勤の配置なし(年間15日)
○校務員は各校園1名(空欄は派遣)
○スクールサポートスタッフを3名配置
(小野小・小野東小・小野中)

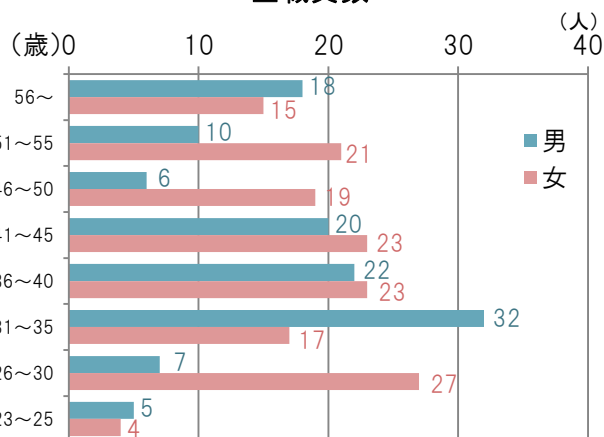
(2)教員の年齢別構成 正規職員のみ (年度末年齢、養護教諭、栄養教諭、事務職員省く)

令和4年4月1日現在
年齢は令和4年度末

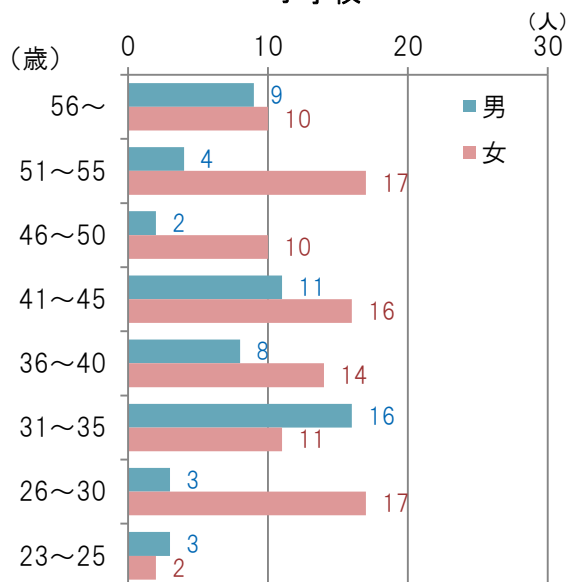
(人)

項目 年齢	小学校		中学校		特別支援 学校		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
56～	9	10	5	5	4	0	18	15
51～55	4	17	6	2	0	2	10	21
46～50	2	10	3	7	1	2	6	19
41～45	11	16	5	5	4	2	20	23
36～40	8	14	13	8	1	1	22	23
31～35	16	11	15	5	1	1	32	17
26～30	3	17	4	7	0	3	7	27
23～25	3	2	2	1	0	1	5	4
合計	56	97	53	40	11	12	120	149

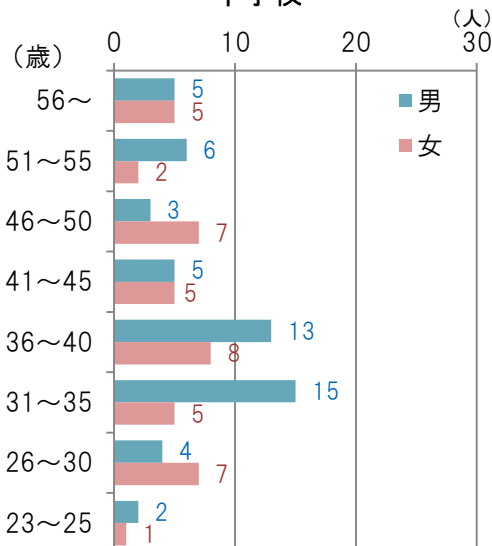
全職員数



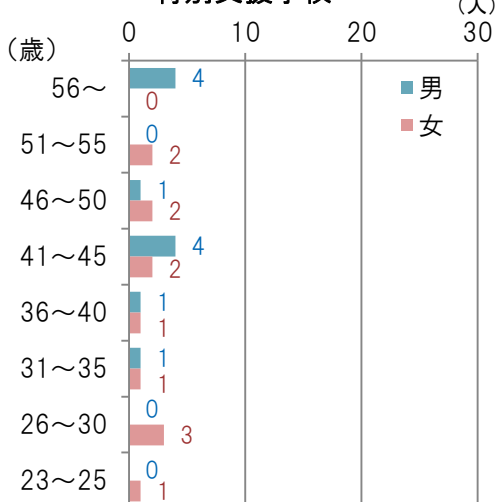
小学校



中学校



特別支援学校



(3)教職員の長期休暇人数

(人)

年 度	産 休	育 休	病 休 (1週間～)
H24	12	20	9
H25	4	18	5
H26	5	17	8
H27	9	11	10
H28	1	11	2
H29	3	10	1
H30	3	12	8
R1	5	12	3
R2	4	15	4
R3	8	18	4

(4)兵庫型学習システム、主幹教諭マネジメント等加配状況

令和4年4月7日現在

■ 小学校

- (A) 教科担任（算数・理科・体育）
 (B) 教科担任（外国語） (b) 教科担任（外国語）兼務校
 (C) 複式学級の指導体制
 (D) 少人数授業
 (E) 35人学級編制
 (9) 「指導方法の工夫改善重点校」

(人)

学校名	教諭	非常勤講師（週当り）			主幹マネジメント 15.30or23.15	専科・多人数 23.15or29
		15時間30分	23時間15分	29時間		
小野小	(B)(D)		(D)(9)		1	
小野東小	(B)(D)(E)		(D)		1	
河合小	(E)		(D)			
来住小	(b)		(D)			
市場小	(B)(D)					
大部小	(B)(D)					
中番小	(b)		(D)		1	
下東条小	(b)		(D)		1	
計	10		7		4	

■ 中学校

- (A) 少人数授業
 (B) 35人学級編制
 (C) 小学校高学年教科担任（算数・理科・体育・外国語）
 (9) 「指導方法の工夫改善重点校」

(人)

学校名	教諭	非常勤講師（週当り）			主幹マネジメント 23時間15分	専科・多人数 23.15or29
		15時間30分	23時間15分	29時間		
小野中	(A)(A)			(A)	1	1
河合中	(A)(A)				1	
小野南中	(A)			(A)	1	
旭丘中	(A)(A)					
計	7			2	3	1

(5)令和4年度 生徒指導加配、不登校加配、児童生徒支援加配等

令和4年4月7日現在

■ 小学校

(人)

学校名	生徒指導 加配 A	児童生徒 支援加配 B	Bのうち 日本語指導	加配計 (A+B)	学校生活 支援	
小野小		1		1	1	
小野東小		1		1	1	
河合小		1	1	1	1	
来住小						
市場小		1		1		
大部小		1		1		
中番小						
下東条小						
計		5		5	3	

■ 中学校

(人)

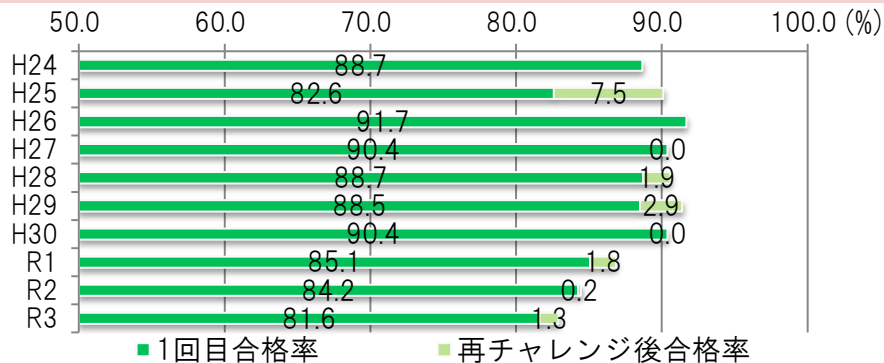
学校名	生徒指導 加配 A	不登校 加配 B	児童生徒 支援加配 C	Cのうち 日本語指導	加配計 (A+B+C)	学校生活支援 読書活動推進
小野中	1	1			2	1(学校生活)
河合中			1		1	
小野南中	1		1		2	
旭丘中			2		2	
計	2	1	4		7	1

9. ハートフルチャレンジおの検定(H16～)

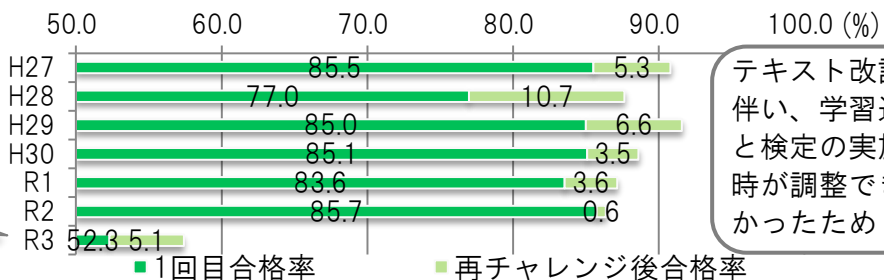
目的：小野市独自の小中一貫教育として小学校1年生から中学校9年生まで「おの検定」を実施し、基礎学力の向上、家庭学習の習慣化、チャレンジ精神の育成を目指します。

(1)検定結果

■ 漢字 8月実施
中学校7年



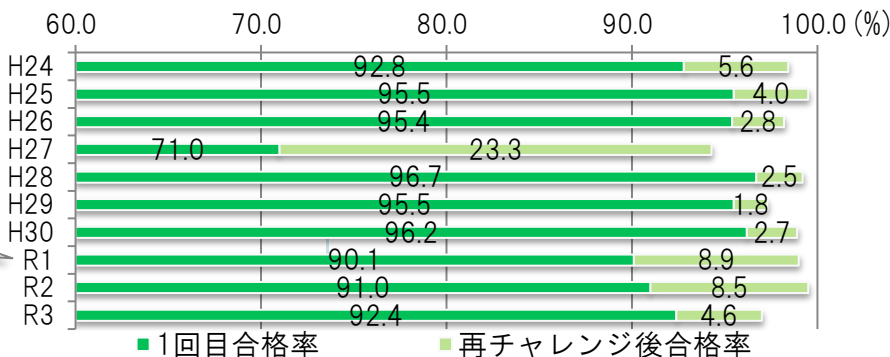
■ 英語 8月実施
中学校7年



テキスト改訂

テキスト改訂に伴い、学習進捗と検定の実施日時が調整できなかったため

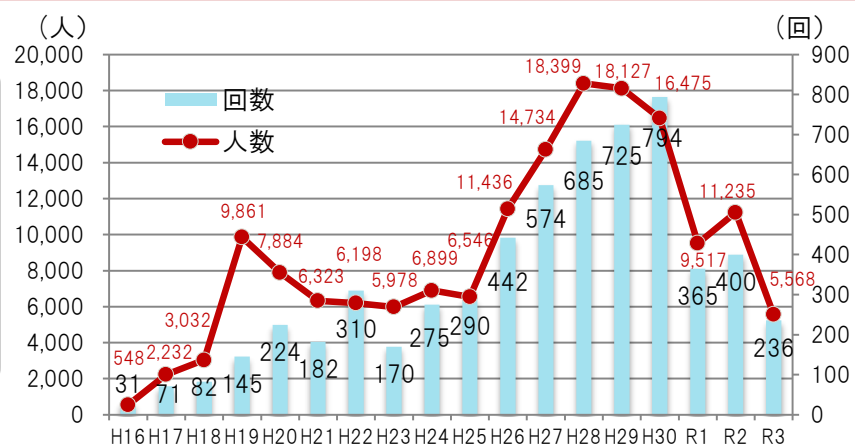
■ 計算 11月実施
小学校6年



テキスト改訂

(2)学習支援員の派遣回数

小野市の小学生・中学生に、基礎計算の力や基礎的な国語の力が十分身につけていることが明らかです。継続することで子どもたちにも指導者にも力がつきます。家庭学習の習慣化への啓発も大切です。 川島教授談



(3)モジュール学習

「おの検定」を軸に脳を活性化する計算・音読を中心とする学習タイムを実施

	実施学校数
小学校	8
中学校	4

(主な内容)

計算・漢字・音読・読書・視写・英単語・
英文読解・そろばん

10. 脳科学と教育

脳科学と教育（川島隆太講演会）（平成16年度～）

目的：教育行政顧問である東北大学川島隆太教授の脳科学の知見を生かした教育の展開を進めるために、市民への直接のかかわりとして実施する。
※平成17年10月教育行政顧問就任

回	開催期日	対象	テーマ
1	H16.1.18	市内全教職員等	「読み・書き・計算が子どもの脳を育てる」
2	H18.3.4	市民	「脳を育て、夢をかなえる」
3	H18.12.19	小学4・5年	「脳の中で、何かが起きている」
4	H19.7.10	中学1・2年	「不思議！前頭前野の驚くべき働き」
5	H20.11.16	就学前の子をもつ保護者	「今 子育てに大切なこと」
6	H21.7.25	教職員・保育士	「脳を育て、夢をかなえる」
7	H22.11.6	就学前の子をもつ保護者	「今 子育てに必要なこと」
8	H23.11.2	小学5年	「夢と希望をかなえる脳科学」（体験型講演会）
9	H24.11.2	小学5年・保護者	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅱ」（体験型講演会）
10	H25.10.30	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅲ」（体験型講演会）
11	H26.10.29	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅳ」（体験型講演会）
12	H27.10.28	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅴ」（体験型講演会）
13	H28.10.26	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅵ」（体験型講演会）
14	H29.10.25	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅶ」（体験型講演会）
15	H30.10.24	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅷ」（体験型講演会）
16	R1.10.30	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅸ」（体験型講演会）
17	R2.11.11	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅹ」（体験型講演会）
18	R3.11.2	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅺ」（体験型講演会）
19	R4.11.9(予定)	小学5年・保護者等	「夢と希望をかなえる脳科学Ⅻ」（体験型講演会）

第18回 体験型講演会（R3.11.2）から 発信

○「夢と希望をかなえる脳科学Ⅺ」（東北大学 川島隆太教授）

- ・人間だけが特別大きい「前頭前野」～みなさんの将来の夢をかなえるための場所～
「考える力」「がまんする力」「仲良くする力」「がんばる力」「ものを覚える力」「学ぶ力」
- ・「前頭前野」をきたえるには「家族や先生の話をする」「書く」「読む」「楽器」「料理」「友だちと一緒に学ぶ」…
- ・「前頭前野」を育むために「早寝・早起き」（質のよい睡眠）、バランスのよい食事、コミュニケーション
- ◆光トポグラフィー 実証実験 児童代表が実際に光トポグラフィーをつけて体験
「おの検定スピード計算」「おの検定漢字」「音読」「友だちに絵の内容を伝える（コミュニケーション）」
「ALTと英語でコミュニケーション」 日々の学びやコミュニケーションの大切さを実感
- ★スマホ・ケータイ・ゲーム・テレビは、1時間以内にしましょう！

○「脳の不思議を見つめてみよう」（京都大学 中村克樹教授）

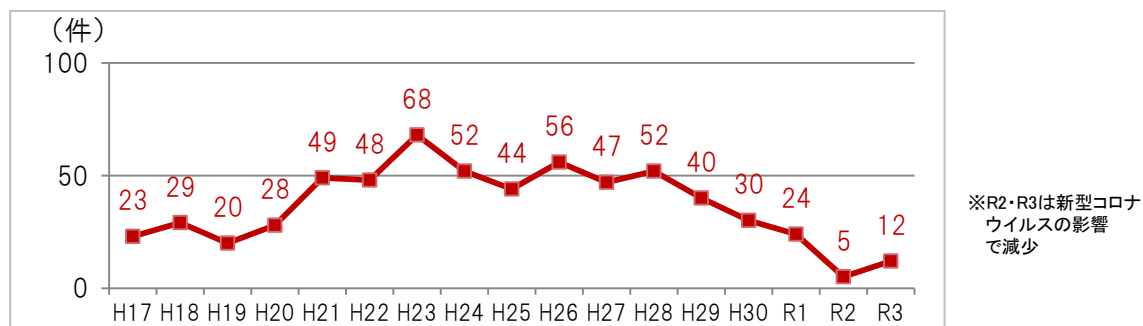
- ・霊長類5種類の脳の実物標本の観察 ・脳の神経細胞の顕微鏡観察 ・錯視体験

○「びっくり！わくわく★かがくおもちゃパラダイス」（かがく教育研究所 上橋智恵先生）

- ・世界一簡単なモーターづくり ・見てみよう！さわってみよう！モーターで動く手づくりおもちゃ

夢と希望の教育～脳科学と教育～（視察・講演）（平成17年度～）

目的：小野市が進める「夢と希望の教育～脳科学と教育～」を市外へ小野市の魅力を発信するとともに、さらなる充実に資する。



脳科学と教育（夢と希望をかなえる脳科学 Short Seminar）（平成29年度～）

目的：小野市教育行政顧問、東北大学川島隆太教授による「夢と希望をかなえる」ための90秒程度の講話を『You Tube 小野市チャンネル』にアップし、夢と希望をかなえるためのポイントを脳科学や心理学などの科学的なデータをもとに、分かりやすく子育て世代へ発信する。

視聴を通して、夢と希望をかなえる子育て・教育の一層の充実を図る。

※平成29年12月1日アップロード開始。

H29.12.1.～ 67本のSeminarをYou Tubeで配信。



（Short Seminar テーマ例）

- ☐ 《前頭前野》 ☐ OFile1 ☐ 心も育む前頭前野 ☐ OFile5 ☐ 脳の発達の特徴
 - ☐ 《コミュニケーション》 ☐ OFile2 ☐ ほめて認めて育む ☐ OFile10 ☐ 調理が脳を刺激する
 - ☐ 《質のよい睡眠》 ☐ OFile13 ☐ 睡眠と脳の発達 ☐ OFile17 ☐ 睡眠リズムが大切
 - ☐ 《バランスの良い食事》 ☐ OFile12 ☐ バランスのよい食事 ☐ OFile24 ☐ 朝食でやる気を育てる
 - ☐ 《メディア》 ☐ OFile7 ☐ スマホが学習効果を打ち消す ☐ OFile19 ☐ 長時間のテレビ視聴は、脳発達を阻害する
 - ☐ 《活動》 ☐ OFile21 ☐ 外遊びや運動が発達を促す ☐ OFile25 ☐ 読み聞かせはこころの扉を開く
- ☐ ※ほかにもポイントがいっぱい！ ☐ 新しいセミナーも順次公開していきます。

回	カテゴリ	内容	回	カテゴリ	内容	回	カテゴリ	内容
1	脳	はたらき	26	コミュニケーション	家族とのコミュニケーション	50	活動	読み聞かせ2
2	コミュニケーション	笑顔・ほめる	27	メディア	集中	51	メディア	スマホ習慣見直し
3	メディア	スマホ	28	食	主食の質	52	脳トレ	記憶のコツ1
4	食	バランス	29	活動	読書	53	前頭前野	発想力を伸ばす
5	脳	発達	30	コミュニケーション	親子遊び	54	活動	読み聞かせ3
6	コミュニケーション	顔を見て	31	メディア	紙と鉛筆	55	メディア	緊急避難基地
7	メディア	スマホ使用時間	32	食	朝食と学ぶ意欲	56	脳トレ	記憶のコツ2
8	食	朝食の質	33	活動	書いて覚える	57	活動	将来への意欲
9	睡眠	睡眠と脳	34	コミュニケーション	自己肯定感	58	活動	読み聞かせ4
10	コミュニケーション	親子で調理	35	メディア	スマホ 集中力	59	脳トレ	読書習慣
11	メディア	LINE	36	食	食と大学（夢）	60	脳トレ	記憶のコツ3
12	食	朝食習慣	★	脳	中村教授・特別	61	活動	学習習慣
13	睡眠	睡眠と学力・体力	37	活動	計算	62	活動	音読
14	調理	おやつづくり	38	コミュニケーション	英語でコミュニケーション	63	メディア	ITは活動を抑制
15	メディア	制御と変化	39	メディア	メディア漬け回避	64	前頭前野	Seminarに寄せて
16	食	習慣化と変化	40	食	食と年収	65	メディア	スマホ使用1時間
17	睡眠	睡眠リズム	41	睡眠	適度な睡眠時間	66	メディア	脳発達の抑制
18	コミュニケーション	自己肯定感	42	活動	楽器演奏			
19	メディア	テレビ長時間視聴	43	メディア	スマホ習慣見直し			
20	食	理想の朝ごはん	44	脳トレ	集中力			
21	活動	外遊び	45	前頭前野	動機付け			
22	コミュニケーション	お手伝い	46	活動	そろばん			
23	メディア	勉強中のスマホ	47	メディア	電子辞書と紙辞書			
24	食	朝食でやる気	48	脳トレ	緊張			
25	活動	読み聞かせ	49	前頭前野	好奇心			



経緯と視聴状況

	動画配信数	チャンネル登録者数	視聴回数	備考
平成29年度	16	119	10,872	12月1日配信開始
平成30年度	65	199	33,444	当初65本の配信完了
令和元年度	67	268	41,270	特別番組の追加配信
令和2年度	67	345	46,775	
令和3年度	67	394	53,289	

12. 学校給食の状況

(1) 学校給食の状況

学校給食は安全安心を基本に、衛生的で栄養のバランスのとれた食事を提供し、児童及び生徒の心身の発達に資する。特に、家庭において摂取しにくく、成長期の児童及び生徒に必要なタンパク質・カルシウム・鉄・ビタミン類の確保に努め、給食を通して家庭への食生活の啓発に努める。



年度	給食日数	給食延食数	1日平均食数	給食費（月額）（円）		1食当り単価（円）
				小学校	中学校	
H29	195	845,472	4,336	3,810	4,120	230
H30	190	810,591	4,266	4,200	4,540	264
R1	187	786,716	4,207	4,200	4,540	284
R2	179	781,439	4,366	4,200	4,540	255
R3	190	794,976	4,184	4,200	4,540	255

(2) 給食費の滞納状況

現年度分収納状況[年度別]

項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3
給食日数(日)	192	195	190	187	179	190
給食費調定額(千円)	204,946	204,414	222,289	219,395	177,349	196,960
給食費納付額(千円)	204,506	204,162	222,088	219,092	176,578	196,361
未納額(円)	440,380	251,550	201,200	303,465	771,020	599,260
現年度徴収率	99.79%	99.88%	99.91%	99.86%	99.57%	99.70%

過年度分滞納状況[年度別内訳]

令和4年3月31日現在

項目	H28以前	H29	H30	R1	R2	計
滞納額(円)	915,175	130,870	113,180	77,640	105,340	1,342,205
滞納世帯数(世帯)	11	5	3	4	4	16
滞納人数(人)	32	5	3	4	5	20

現年度分の徴収率は、例年99.5%～99.9%台で推移している。令和3年度の徴収率は、99.70%であった。令和2年度以前の過年度分は、督促徴収や戸別訪問などで、約12.3%減少した。

13. 16か年教育推進事業

就学前教育（平成17年度～）

目的：「脳科学と教育」を基盤に16か年教育システムを構築し、子育てのポイントを市内の保育園・幼稚園を訪問し30分程度のプレゼンテーションにより啓発を行い、家庭教育の充実に資する。

（令和3年度実績）

子育て教室・保育園（所）			（人）
No	月 日	保育園（所）	参加者
1	10月30日	みやま保育園	40
2	11月19日	小野保育所	31
3	12月15日	来住保育所	38
4	1月12日	北辰こども園	25
5	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため 全ての園所で実施できず。		
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
計			134

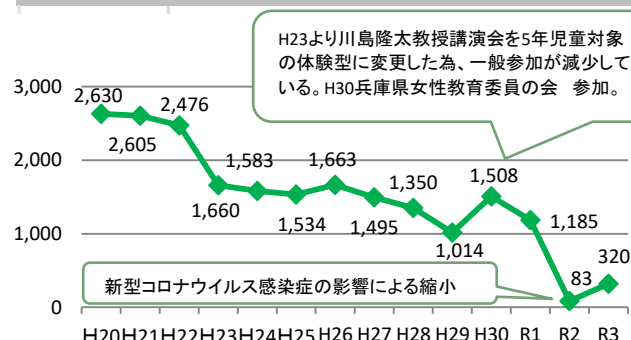
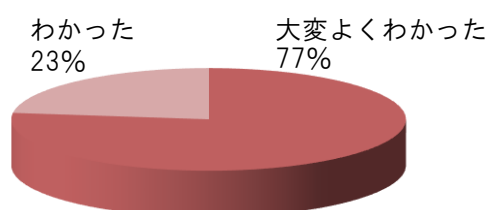
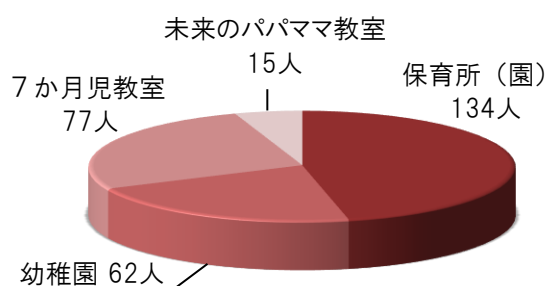
子育て教室・幼稚園			（人）
No	月 日	幼稚園	参加者
1	7月7日	わか松幼稚園	30
2	11月5日	小野東幼稚園	32
計			62

幼保指導者研修会		
1	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0

7か月児教室			（人）	未来のパパママ教室			（人）
No	月 日	参加者		No	月 日	参加者	
1	4月15日(木)	14		1	7月21日(水)	4	
2	5・6月新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0		2	11月19日(金)	6	
3	7月15日(木)	7		3	1月19日(水)	5	
4	8月19日(木)	10		4			
5	9月中止	0		5			
6	10月21日(木)	12		6			
7	11月18日(木)	14					
8	12月16日(木)	13					
9	1月20日(木)	7					
10	2月中止	0					
11	3月中止	0					
12							
計			77	計			15

就学前教育参加者合計			（人）
H20	2,630	（川島隆太講演会含む）	
H21	2,605	（川島隆太講演会含む）	
H22	2,476	（川島隆太講演会・指導者研含む）	
H23	1,660	（川島隆太講演会は児童対象）	
H24	1,583	（川島隆太講演会は児童対象）	
H25	1,534	（川島隆太講演会は児童対象）	
H26	1,663	（川島隆太講演会は児童対象）	
H27	1,495	（川島隆太講演会は児童対象）	
H28	1,350	（川島隆太講演会は児童対象）	
H29	1,014	（川島隆太講演会は児童対象）	
H30	1,508	（川島隆太講演会は児童対象）	
R1	1,185	（川島隆太講演会は児童対象）	
R2～R3	R2(83)R3(320)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

子育て教室参加者数と感想



(1)小中一貫教育の推進（平成28年度～）

目的：小中一貫による9か年を通じた児童生徒の育成を行うとともに、円滑な接続により、児童生徒が安心して学習できるようにし、学習指導・生徒指導の充実に資する。
平成16年度～小中連携教育を推進

特色：4中学校区がそれぞれの実態に応じて実践研究し、その成果を市内で交流する。
脳科学理論に基づく脳の発達に対応した研究を進める。

「小学校高学年教科担任制」学級担任のよさを活かしながら、教科担任制を段階的に導入。
「小中連携教育」授業交流、行事交流（児童生徒交流）、合同研究（教師交流）、地域発信等を実施。

■ あしあと

取組の概要

2003(H15)～	河合プロジェクト 委員会設置（11月）～H16年度より文部科学省事業開始
2005(H17)	市内全中学校区で小中連携事業を開始
2008(H20)	県小中連携フロンティア事業（市内4中学校区で展開）
2009(H21)	河合小中ふれ愛の日（中学校登校）開始。河合中校区 不登校ゼロ
2010(H22)	県兵庫型教科担任制（小野市では全小学校 一斉実施）
2015(H27)	河合小中施設併用型5・4制小中一貫スタート
2016(H28)	市内全校区で小中一貫教育校スタート 小学校高学年で『定期テスト』スタート

★校務支援システムの導入と情報の水平展開★（平成28年度～）

2016(H28)	校務支援システム導入（校務用PCの更新とグループウェアの稼働）
2017(H29)	出席管理、通知票、指導要録等基本機能の稼働
2018(H30)	道徳の教科化に伴う小学校帳票の更新・稼働 小野市オリジナル情報共有シートの試験運用
2019(R1)	情報共有シートの運用開始 小中一貫情報共有システムの構築 道徳の教科化に伴う中学校帳票の更新・稼働
2020(R2)	新学習指導要領全面実施に伴う小学校指導要録・通知票帳票の更新
2021(R3)	新学習指導要領全面実施に伴う中学校指導要録・通知票帳票の更新



(2)特色ある教育（平成16年度～）

■ 1 学力向上・ICT教育推進

目的：小野市の児童生徒の小野市型学力向上をめざした授業改革を推進する。

取組の概要

H20	小野市型学力向上へ	ICT教育による授業改革へ向けた重点研修の開始（7講座・3年間）
H21	小野市型学力向上へ	ICT機器の配置（プロジェクター・書画カメラ・ノートPC）開始(3年間)
H22	小野市型学力向上へ	ICT教育による授業改革へ向けた重点研修の終了→担当者会主催研修へ
H23		ICT機器の191セット配置完了、小野市型学力向上へ向けた授業改革推進へ移行
H24	小野市型学力向上へ	管外視察を含めて児童生徒主体で「生きる力」を育む授業改革を協議
H25	小野市型学力向上へ	自主研究発表を含めて児童生徒主体で「生きる力」を育む授業改革を推進
H26	小野市型学力向上へ	小中一貫教育・学力向上に取り組む先進校視察と授業改革をさらなる推進
R2	小野市型GIGAスクール構想へ向けたICT機器の整備と事前研修	
R3～	小野市型GIGAスクール構想へ向けたICT機器を活用した授業改革（学力向上推進委員会）	学級閉鎖時オンライン授業実施、R3年度270事例収集

■ 2 理数教育の充実

目的：小中一貫して、「理科教育」を充実し、科学技術立国を生き抜く力を育む。

取組の概要

- H16 小学校理科実験実技講習（4講座）の開始。
- H17 サイエンスゾーンによる理科出前授業。
- H18 小野南中学校 科学技術分野の文部科学大臣賞を受賞。
- H21 小中連携して、中学校教員をリーダーとする1講座を含む教職員研修を開始。
- H22 兵庫教育大学連携事業「サイエンス祭」を開催（3か年事業、H25以降も継続実施）
- H25 小野南中学校 科学技術分野の文部科学大臣賞（創意工夫育成学校賞）を受賞（H18・21に続いて3回目）
- H27 河合中校区 理数探究科創設（外部講師を活用した授業の実施）
- H29 河合中学校 数学・理科甲子園ジュニア全国大会出場。

■ 3 外国語教育の充実

目的：小中一貫して、「英語教育」を充実し、国際社会で活躍できる力を育む。

取組の概要

- H16 小中連携英語活動の実践研究の開始
- H17 小学校1・2年月1回、3年以上は週1回の英語活動実施
- H18 JETプログラムにより、全小学校に5名のALTを配置（夏に来日。2学期より）
- H23 小学校新学習指導要領により、小学校高学年（5・6年）外国語活動の本格実施
- H24 「おの検定」に「中学校英語検定」が加わる。
- H26 小中教員の外国語教育リーダー研修の開始（県）
- H27 小中教員の外国語教育リーダー研修への派遣（国）
- H29 河合中学校 数学・理科甲子園ジュニア全国大会出場
- H30 小学校英語専科教員の配置（モデル校区 1校区）
- R1 小学校英語専科教諭による外国語教育。5・6年の専科制の実施（全小学校）

■ 4 特別支援教育の推進

目的：障害のある児童生徒の教育的ニーズに応じた特別支援教育を充実させる。

取組の概要

- H18 特別支援教育推進委員会の設置。特別支援教育コーディネーターの指名。スクールアシスタント配置事業
- H19 特別支援教育校内支援体制の構築
- H20 発達障害啓発リーフレットの作成。個別の指導計画・支援計画の作成。巡回教育相談の開始
- H21 特別支援教育コーディネーターネットワーク会議の開催。学校生活支援教員の配置
- H22 特別支援教育授業研究会の実施。就学のための連携会議開催
- H23 特別支援教育コーディネーター研修会の開催。ユニバーサルデザインの授業づくり研究を開始
- H24 小学校重点校におけるユニバーサルデザインの授業づくり研究。就学のための保幼小連携会議開催
小野特別支援学校にタブレット端末5台配置。タブレット端末を活用した学習支援の研究を開始
「魔法のじゅうたんプロジェクト」（東京大学・ソフトバンク）協力校に2校採択され研究を推進
講演会、タブレット端末活用授業研究会3回実施。校区别活用研修会8回実施。実践事例集の作成
- H25 小野市発達支援室との連携。兵庫教育大学院特別支援教育モデル研究開発室との連携
小野特別支援学校にタブレット端末10台配置。県立特別支援教育センター実技研修を実施
「魔法のランププロジェクト」（東京大学・ソフトバンク）継続協力校に2校採択され研究を推進
- H27 早期からの教育相談・支援体制構築事業開始
- H28.29 『発達障害の可能性のある児童生徒に対する支援事業』指定。文部科学省発表
- H30 切れ目ない教育支援体制整備充実事業開始
- R1.2 トライアングル・プロジェクト（家庭と教育と福祉の連携）事業

14. 幼稚園、小・中・特別支援学校 施設一覧

項目 学校名	建物名	建設年度	構造・階数	床面積	普通 教室	特別 教室	耐震対応 実施年度	プール 設置年度	敷地面積
わか松幼稚園	校舎	S44	S-1	443	4			小野小 プール 使用	5,190
	遊戯室	S44	S-1	130					
	その他	H5,13	S-1	44					
	計			617					
小野東幼稚園	校舎	S43,52	S-1	512	3			簡易プール	2,725
	遊戯室	S43	S-1	130					
	その他	S55,H15	S-1	50					
	計			692					
小野小学校	校舎	S62	R-3	4,633	22	11		S45	23,527
	体育館	S63	R-1	1,033					
	その他	S45,63	S-1	112					
	計			5,778					
小野東小学校	校舎	S49,50,55,H25	R-3	6,716	25	14	H25	S50	28,824
	体育館	H25	R-2	1,251			H25		
	その他	S50,H26	S-1,R-1	199					
	計			8,166					
河合小学校	校舎	H11	R-3	4,554	11	14		S43	17,057
	体育館	H12	R-2	1,017					
	その他	H11,13	R-1,S-1	206					
	計			5,777					
来住小学校	校舎	H14	R-2	3,715	8	8		S45	20,172
	体育館	S62	R-1	778					
	その他	S44,H14	S-1,R-1	202					
	計			4,695					
市場小学校	校舎	S37,52,60	R-3	3,732	14	12	H21	S44	26,844
	体育館	S40	R-2	595			H21		
	その他	S40,43,63,H21	W-1,S-1	269					
	計			4,596					
大部小学校	校舎	S44,H4	R-3	3,826	15	8	H21	S46	18,565
	体育館	S45	S-2	575			H22		
	その他	S46,57,H13,19	S-1,R-1	98					
	計			4,499					
中番小学校	校舎	H7	R-3	2,652	8	6		S44	15,647
	体育館	H8	R-2	912					
	その他	H8	S-1	106					
	計			3,670					
下東条小学校	校舎	H6,14	R-3	3,378	8	12		S44	15,222
	体育館	H7	R-2	1,119					
	その他	H6,8	S-1	116					
	計			4,613					
小野中学校	校舎	S57,H22	R-5	7,356	22	26	H22	H22	30,157
	体育館	H22	R-2	1,456			H22		
	格技場	S58	R-2	486					
	その他	S58,H22,23	R-1,S-1	476					
	計			9,774					
河合中学校	校舎	S45,46,H7	R-3	3,859	9	15	H20	S47	34,399
	体育館	S47	S-2	1,145			H20		
	格技場	S63	S-1	423					
	その他	S45,47	S-1	334			H20		
	計			5,761					
小野南中学校	校舎	S54,59	R-3	4,851	11	14	H20	S57	30,581
	体育館	S55	S-2	1,154			H20		
	格技場	S55	R-1	438					
	その他	S54,56,58,63	R-1,S-1	368					
	計			6,811					
旭丘中学校	校舎	S42,43,44,H1	R-3,S-1	5,028	12	13	H20	S45	40,595
	体育館	S43	R-2	852			H20		
	格技場	S62	S-1	400					
	その他	S45,46,58	S-1	337					
	計			6,617					
小野特別支援学校	校舎	S58,59,H13	S-1	1,705	10	5		S59	16,562
	体育館	H20	S-1	615					
	その他	S58,59,H4	S-1	161					
	計			2,481					

【構造】 S:鉄骨造、R:鉄筋コンクリート造、W:木造

参考：令和3年度施設台帳

15. 学校施設整備事業（平成19年度～令和7年度）

安全安心な学校環境を維持するために、学校施設の耐震補強、大規模改修及び増改築工事を計画的に実施する。

学校名 建築年度	事業名	事業概要		事業費 (億円)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
旭丘中学校 S42～	耐震補強	校舎2棟 RC-3F 体育館 RC・S-2F	実績	1.58→ (設計)																		
	大規模改修	技術科教室棟 S-1F	実績	0.22		→ (設計・工事)																	
小野南中学校 S54～	耐震補強	校舎4棟 RC-3F 体育館・格技場 RC・S-3F	実績	1.24→ (設計)	→ (工事)																	
河合中学校 S45～	耐震補強	校舎2棟 RC-3F 体育館 RC・S-2F	実績	0.91→ (設計)																		
市場小学校 S37～	耐震補強	校舎1棟 RC-2F 体育館 RC・S-2F	実績	2.04	→ (設計)	→ (工事)																
	大規模改修	校舎2棟 RC-2F 体育館 RC・S-2F	実績	0.48	→ (設計)	→ (工事)																
大部小学校 S44～	耐震補強	校舎1棟 RC-3F 体育館 RC・S-2F	実績	0.53	→ (設計)	→ (工事)																
特別支援学校 S58～	体育館増築	体育館新築 S-1F 渡廊下増築	実績	1.34	→ (設計)	→ (工事)																
小野中学校 S29～	校舎改築	用地地買収 1,319㎡ 校舎改築 RC-5F 体育館改築 RC・S-2F	実績	14.50		→ (設計)	→ (工事)															
小野東小学校 S49～	校舎耐震改修 体育館改築 運動場整備	校舎4棟 RC-3F 体育館改築 RC・S-2F	実績	14.82			→ (設計)	→ (工事)														
給食センター S42～	共同調理場 (改築)	共同調理場 S-2F	実績	12.52									→ (設計)	→ (工事)								
小野南中学校 S54～	校舎長寿命化	校舎5棟 RC-3F	実績	10.95												→ (設計)	→ (工事)					
	体育館長寿命化	体育館 S-2F	実績	3.69													→ (設計)	→ (工事)				
旭丘中学校 S42～	校舎長寿命化	校舎2棟 RC-3F	計画	14.00															→ (設計)	→ (工事)		
わか松・小野東幼稚園 S43～	新幼稚園整備	園舎約1,300㎡	計画	5.18															→ (耐震診断・設計)	→ (工事)		

16. 児童生徒の体力の状況

令和3年度 全国体力・運動能力テスト結果（市内全5年生・8年生）

平均値の比較

- ◎ 本市が全国平均値及び兵庫県平均値に比し優れているもの
- 本市が全国平均値及び兵庫県平均値に比しどちらか一方より優れているもの
- △ 本市が全国平均値及び兵庫県平均値に比し劣っているもの

			男 子		女 子	
			5年生	8年生	5年生	8年生
握 力	kg	市	15.59	30.58	15.55	24.40
		県	15.65	28.14	15.56	23.08
		国	16.22	28.80	16.09	23.43
		比較	△	◎	△	◎
上体起こし	回	市	18.19	25.65	17.45	21.34
		県	18.21	25.29	17.25	21.70
		国	18.90	25.99	18.08	22.32
		比較	△	○	○	△
長座体前屈	cm	市	32.55	42.55	36.57	42.26
		県	31.80	40.89	36.42	44.46
		国	33.48	43.67	37.90	46.20
		比較	○	○	○	△
反復横とび	回	市	41.28	48.87	40.40	43.47
		県	38.99	50.47	37.19	45.81
		国	40.35	51.19	38.72	46.25
		比較	◎	△	◎	△
中学生(秒) 1500m(男子) 1000m(女子) 小学生(回) 20mシャトルラン	秒 回	市	44.05	385.57	37.52	288.23
		県	45.92	400.79	36.43	296.41
		国	46.83	406.38	38.15	297.62
		比較	△	◎	○	◎
50m走	秒	市	9.33	8.20	9.52	9.04
		県	9.43	8.02	9.68	8.89
		国	9.45	8.01	9.64	8.88
		比較	◎	△	◎	△
立ち幅とび	cm	市	153.88	190.27	151.15	164.55
		県	152.31	193.42	145.09	167.62
		国	151.41	196.36	145.18	168.15
		比較	◎	△	◎	△
中学生 ハンドボール投げ 小学生 ソフトボール投げ	m	市	21.41	19.54	14.03	12.33
		県	20.77	19.54	12.91	12.05
		国	20.58	20.31	13.30	12.72
		比較	◎	○	◎	○

【考察】

- 小野市の子どもたちは、巧緻性（ソフト・ハンドボール投げ）に優れている。
- 小学生は敏捷性（反復横とび）、スピード（50m走）、瞬発力（立ち幅とび）に優れており、中学生は筋力（握力）、全身持久力（1000m・1500m走）に優れている。

【今後の取組】

- 小・中男女別の具体的目標値を設定し、継続した柔軟性向上に取り組む。
- 調査結果を踏まえた授業の工夫・改善や日常生活における体力向上の取組の推進
- 小学生の運動機会を増やす取組
- なわとび検定、水泳検定、日頃の外遊びを通した体力づくり等

18. 学校管理下における災害

(1) 負傷・疾病の場合別災害発生状況（令和3年度）（件）

場合別	年度	幼稚園	小学校	中学校	合計	前年度比
各教科	R2	2	29	31	62	
	R3	6	37	42	85	23
特別活動	R2		8	1	9	
	R3		10	2	12	3
学校行事	R2		2	3	5	
	R3		1	8	9	4
課外指導	R2		2	88	90	
	R3		1	121	122	32
休憩時間中	R2		61	11	72	
	R3		55	12	67	-5
通学中	R2		11	30	41	
	R3		12	30	42	1
合計	R2	2	113	164	279	
	R3	6	116	215	337	58

(2) 負傷・疾病の種類別災害発生状況（令和3年度）（件）

区分		幼稚園		小学校		中学校		合 計	
年度		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
負傷	骨折	1	1	25	20	35	60	61	81
	捻挫			8	22	33	34	41	56
	脱臼		1	1	4	2	4	3	9
	挫傷・打撲	1	3	57	49	59	91	117	143
	靱帯損傷・断裂			1	3	7	10	8	13
	挫創		1	8	7	12	6	20	14
	切創			3	2	1	2	4	4
	刺創				2				2
	割創			1				1	
	裂創				1				1
	擦過傷				2				2
	熱傷・火傷			1				1	
	歯牙破折			1	2			1	2
	その他				1				1
疾病	食中毒								
	食中毒以外の中毒								
	熱中症					2		2	
	溺水								
	異物の嚥下・迷入			1		2		3	
	接触性の皮膚炎					1		1	
	外部衝撃に起因する疾病			3	1	9	7	12	8
	負傷に起因する疾病			3		1	1	4	1
負傷・疾病の合計		2	6	113	116	164	215	279	337

(3) 中学校 種目別ケガ等発生件数（令和3年度）（件）

		【部活動中】										【体育授業中】											
		サッカー	テニス	ソフトボール	野球	バレー	バスケット	卓球	柔道	陸上	その他	計	サッカー	テニス	ソフトボール	野球	バレー	バスケット	卓球	柔道	陸上	その他	計
負傷	骨折	8	1	1	5	5	8		3			31					3	5		1		5	14
	捻挫				2	3	13		1	1		20					1	1				3	5
	脱臼						3					3					1						1
	挫傷・打撲	8	11	4	3	8	16	1	1	2		54	2		2		1	1		3	1	8	18
	靱帯損傷・断裂				1	2	3					6						1					1
	挫創								1			1											
	切創												1										1
	擦過傷																						
疾病	熱中症																						
	遺物の嚥下・迷入																						
	外部衝撃に起因する疾病		1	1		1	1	1		1		6									1		1
	負傷に起因する疾病																						
計		16	13	6	11	19	44	2	6	4		121	3		2		6	8		4	2	16	41

19. ウオーキング事業・スポーツクラブ21・スポーツ少年団活動状況

①ハートフルウオーキング事業（令和3年度実績）

月	事業名	参加者数	備考
4月	第15回桜づつみウオーク	中止	神鉄観光、大部地区地域づくり協議会、観光協会
	やなせ苑八重桜ウオーク	中止	神鉄観光、観光協会
6月	小野ハミングウェイウオーキング	中止	神鉄観光、市場・来住地区地域づくり協議会、観光協会
	浄土寺裏山あじさいウオーク	中止	神鉄観光、観光協会
10月	下東条ふるさとウオーク	中止	神鉄観光、下東条地区地域づくり協議会、観光協会
1月	鴨池ウオーク	中止	神鉄観光、来住地区地域づくり協議会、観光協会
2月	かわいふるさとウオーク	中止	神鉄観光、河合地区地域づくり協議会、観光協会
3月	小野アルプス縦走ハイキング	中止	神鉄観光、観光協会
合計		0人	新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため年間8回の事業を全て中止

おのハートフル歩人会

おのハートフル歩人会は、ハートフルウオーキング事業の円滑な運営及びウオーキングの普及・振興を図るための市民による組織で、上記の事業において、受付や危険箇所の走路員、先導等を行っている。

- 会員数：32名（会長1名、副会長1名、理事7名、会員23名）
- 事業：ハートフルウオーキング、他団体との連携事業、市外交流ふれあい研修会

市外交流ふれあい研修会（令和3年度実績）

回数	目的地	市町名	日程	参加人数
1	あわじ花さじき	淡路市	10月11日	21人

②スポーツクラブ21活動状況・・・地域コミュニティの形成、地域の教育力回復、健康保持増進を目指す

7クラブ交流事業「グラウンドゴルフ大会」「アジャタ大会」

クラブ名	会員数	活動種目	イベント
おの	150人	フットサル・健康体操・スポーツ吹矢・グラウンドゴルフ・太極拳	親睦旅行・新春餅つき・バーベキュー・グラウンドゴルフ大会・ニューススポーツ体験
おのひがし	60人	卓球・バドミントン・バスケットボール・弓道	ボーリング大会・親睦会・ビーズ教室・パン教室
かわい	153人	バドミントン・硬式テニス・卓球・ゴルフ・ソフトバレーボール・ランニング・フットサル	かわいの大運動会・スナッグゴルフ大会・夏休みイベント・ゴルフコンペ
きすみの	91人	ソフトバレーボール・卓球・バドミントン・太極拳・ハイキング・クォーターテニス・キンボール	ボウリング大会・バーベキュー大会
いちば	180人	卓球・バドミントン・フットサル・太極拳・少年野球・少年サッカー・少女バレーボール	ボウリング大会・バーベキュー大会
おおべ	62人	グラウンドゴルフ・卓球・太極拳・硬式テニス・バドミントン・バレーボール・バウンドテニス・ソフトバレーボール	地域づくり協議会イベント・餅つき大会
オール下東条	285人	少年野球・少女バレーボール・少年サッカー・フットサル・ウオーキング・グラウンドゴルフ・太極拳・ゲートボール	運動会・ソフトボール大会・バレーボール大会

③スポーツ少年団活動状況・・・児童にスポーツを振興し、児童の心身の健全な育成を図る

本部実施事業 「ひまわり杯（野球・バレー・サッカー）」「AED講習会」「指導者研修会」

少年団団員数

校区	野球		バレーボール		サッカー		小計		合計
男女種別	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男女
小野	21人	2人	0人	11人	0人	0人	21人	13人	34人
小野東	23人	3人	0人	15人	29人	0人	52人	18人	70人
河合	0人	0人	1人	7人	17人	11人	18人	18人	36人
来住	15人	3人	0人	9人	8人	0人	23人	12人	35人
市場	17人	3人	1人	18人	20人	2人	38人	23人	61人
大部	22人	0人	0人	19人	0人	0人	22人	19人	41人
中番	7人	1人	2人	8人	0人	0人	9人	9人	18人
下東条	15人	3人	0人	15人	0人	0人	15人	18人	33人
小計	120人	15人	4人	102人	74人	13人	198人	130人	328人
合計	135人		106人		87人		328人		

20. スポーツ施設利用状況

公共体育施設利用状況

(人)

名称	施設概要	主な種目	利用人数			
			H30	H31	R2	R3
小野市総合体育館 (アルゴ)	アリーナ、卓球室、軽運動室 室内プール、トレーニング室 体育室、ランニングコース	屋内競技全般、水泳、ヨガ トレーニング、剣道、空手 エアロビクス、ダンス 少林寺拳法	187,600	175,271	127,395	123,890
大池総合公園	野球場、陸上競技場 テニスコート	軟式野球、ソフトボール 陸上競技、テニス	35,807	39,907	27,610	25,829
河合運動広場	テニスコート、多目的広場 多目的グラウンド	テニス、ゲートボール サッカー、ソフトボール グラウンドゴルフ	28,639	29,132	24,904	19,342
榊公園	野球場	軟式野球、ソフトボール	10,208	10,271	5,893	5,107
匠台公園体育館 (おのアクト)	アリーナ、トレーニング室 軽運動室、ランニングコース	屋内競技全般、ヨガ ダンス、トレーニング エアロビクス	61,205	56,056	35,993	37,306
八ヶ池自然公園	龍翔ドーム、屋外コート	フットサル、ゲートボール	16,147	15,900	12,336	10,324
山田多目的広場	多目的広場	ソフトボール、サッカー	1,978	1,955	1,474	
浄谷野球場	野球場	硬式野球、軟式野球 ソフトボール	2,555	2,153	3,216	3,542
小野希望の丘陸上競技場 (アレオ)	陸上競技場	陸上競技、サッカー			17,661	18,983
利用者合計			344,139	330,645	256,482	244,323

スポーツ教室一覧

■ 小野市総合体育館（アルゴ）

(人)

■ 小野市匠台公園体育館（おのアクト）

(人)

教室名	コース数	対 象	延人数
ルンルン体操	1	4歳児	843
ゴーゴー体操	1	5歳児	898
たけの子体操	2	小学1～2年生	2,253
のびのび体操	2	小学3～6年生	2,247
キッズストリート ダンス	1	4・5歳児	737
	1	小学1・2年生	1,000
	1	小学3～6年生 初心者	1,030
	1	小学3～6年生 経験者	1,014
ストリートダンス	1	中学生～一般	581
ピラティス	2	一般男女	1,384
ヨガ	3	一般男女	1,222
フラダンス	2	一般男女	704
ポルドブラ	2	一般男女	1,256
シェイブボクシング	1	一般男女	622
ファットバーンエアロ	3	一般男女	1,504
そよかぜ	2	高齢者男女 概ね60歳以上	1,427
自力整体法	1	一般男女	345

教室名	コース数	対 象	延人数
ヨガ	6	一般男女・経験者	2,645
ピラティス	2	一般男女	612
エアロビクス	1	一般男女	508
ステップ	1	一般男女	492
ひまわり	1	高齢者男女 概ね60歳以上	546
フラダンス	1	一般男女	204
キッズダンス	1	4・5歳児	156
	1	小学1・2年生	143
	1	小学3～6年生	462

■ スイミングスクール（小野市総合体育館）(人)

教室名	コース数	対 象	延人数
親子	2		365
幼児	9		7,147
小学生	10		18,183
小・中学生	4		6,035
水中散歩	3	一般男女	1,251
アクアビクス	2	一般男女	591
女性	2		827
一般男女	3		1,537
育成	1	小学生	1,309
選手	1	小・中学生、高校生	1,640

※ スイミングスクール記録会 11月

- ・生涯スポーツは、市民の健康づくり、体力づくり、コミュニティづくりを目的に各種事業を開催している。
- ・スポーツクラブ21は様々な世代が集い、それぞれ特色を活かした活動を行っているが、さらに地域コミュニティづくりを推進するためには、各クラブや市内全体での交流事業開催や自主運営の支援を継続して行う必要がある。
- ・今後は、安全・安心な施設の維持管理、利用者が気軽に利用できる施設づくり、各種スポーツ教室等事業開催による生涯スポーツ推進と利用者の増加を目指していく。

21. 小野ハーフマラソン開催結果

第8回小野ハーフマラソン2021

大会詳細

開催日時	令和3年12月5日(日)
種 目	ハーフマラソン(一般男子・一般女子)、 3kmの部(一般男子・一般女子・中学生)、1.5kmの部(小学4-6年・小学1-3年)
主 催	小野ハーフマラソン2021実行委員会
共 催	小野市、小野市体育協会
協 力	阪神タイガース、オリックス・バファローズ、MBS、YTV、(株)サンテレビジョン、 FM802、Kiss FM KOBE、(株)神戸新聞社、(株)デイリースポーツ、スポニチ
協 賛	(株)ECC、大関化学工業(株)、トクセン工業(株)、(株)三杉屋、キリンビバレッジ(株)、(株)みなと 銀行、(一社)HDP、(医)育和会 他90社
協力施設	うるおい交流館エクラ、小野市総合体育館アルゴ
ボランティア	約1,000人がスタッフとして大会を運営
改善点	・ 感染対策の徹底 ・ 新庁舎完成に伴う会場レイアウト変更 ・ ボランティア数の削減(感染リスク低下のため)

第8回参加者数、タイムデータ

種 目	ハーフ		3km			1.5km	
	一般男子	一般女子	一般男子	一般女子	中学生	小学4-6年	小学1-3年
申込者数(人)	3,496	683	124	171	93	162	173
出走者数(人)	3,201	638	117	151	83	142	162
完走者数(人)	3,152	620	117	151	83	142	162
完走率	98.8%	97.2%	100%	100%	100%	100%	100%
優勝タイム	1:07:28	1:17:31	0:09:22	0:12:33	0:09:37	0:04:42	0:05:30
入賞者 居住地	1位	加東市 三木市	神戸市	稲美町	丹波篠山市	姫路市	愛媛県
	2位	福井県 大阪府	小野市	小野市	小野市	姫路市	京都府
	3位	明石市 姫路市	神戸市	神戸市	小野市	小野市	加西市
	4位	三重県 大阪府					
	5位	加古川市 神戸市					
	6位	神戸市 神戸市					

【公式発表】

参加申込者数者 4,245人、大会参加者数 3,882人
会場来場者数(ランナー・応援者を含む) 8,000人

参加者数の推移

開催内容	申込者数（上段）及び出走者数（下段）							合計
	ハーフ		10km（3km）		1.5km（3km）			
	一般男子	一般女子	一般男子	一般女子	中学生	小学4-6年	小学1-3年	
第1回	3,207	1,051	262	300	228	233	224	5,505
	2,803	902	217	251	201	203	194	4,771
第2回	2,826	858	162	206	206	201	212	4,671
	2,572	748	152	184	206	192	204	4,258
第3回	3,224	922	164	258	197	210	224	5,199
	2,838	786	140	215	147	191	199	4,516
第4回	3,038	883	612	527	44	239	241	5,584
	2,694	775	528	468	36	213	222	4,936
第5回	3,000	878	621	545	149	214	232	5,639
	2,623	771	533	474	138	194	221	4,954
第6回	3,063	870	625	495	106	224	243	5,626
	2,712	761	538	422	87	193	223	4,936
第8回	3,496	683	124	171	93	162	173	4,902
	3,201	638	117	151	83	142	162	4,494
合計	21,854	6,145	2,570	2,502	1,023	1,483	1,549	37,126
	19,443	5,381	2,225	2,165	898	1,328	1,425	32,865

※第3回大会～ 3kmの部を10kmの部に変更し、中学生と小学4-6年生は1.5kmの部とする。

※第8回大会～ 10kmの部を3kmの部に変更し、中学生は3kmの部とする。

※上段は申込者数、下段は出走者数とする。

22. 市民版おの検定

(1) 検定回数・受検者数・テキスト販売数

年度	総検定 事業回数 (回)	総受検 者数 (人)	総テキ スト販売数 (冊)
H16	—	—	4,125
H17	70	2,597	1,970
H18	138	6,041	3,878
H19	141	7,628	1,785
H20	139	8,584	1,853
H21	134	8,646	1,268
H22	145	9,672	1,640
H23	173	10,132	1,445
H24	171	10,557	1,068
H25	156	10,655	796
H26	156	9,640	731
H27	150	9,452	492
H28	160	11,139	519
H29	152	10,269	947
H30	157	9,757	662
R1	138	8,767	423
R2	14	2,228	701
R3	16	2,421	511
合 計	2,210	138,185	24,814

2005年度スタートした市民版おの検定

令和元年10月に
受検者13万人を突破



- 脳トレ
- ふれあい交流
- 生きがいづく

(検定テキスト／豊富なラインナップ)

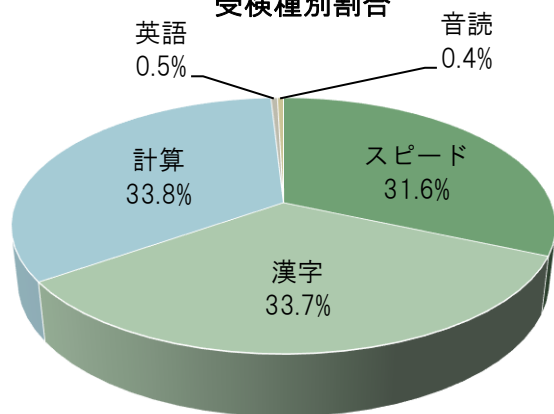
(2) 令和3年度種類別検定回数・受検者数

区分	事業回数 (回)	総受検者数 (人)
高齢者福祉施設	3	78
図書館	3	184
加古川刑務所	10	2,159
いきいきサロン	—	—
イベント関係	—	—
その他(団体)	—	—
合 計	16	2,421

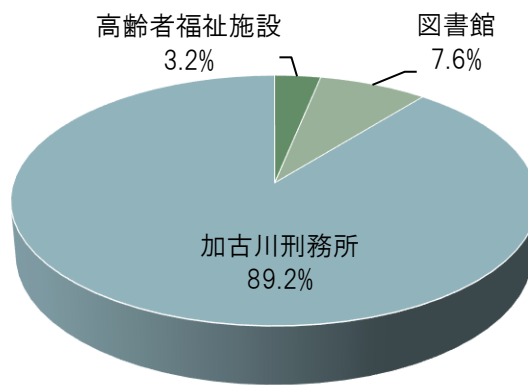
平成17年 市民版おの検定開始

平成25年11月3日 受検者数7万人突破
 平成26年11月4日 受検者数8万人突破
 平成27年11月12日 受検者数9万人突破
 平成28年11月6日 受検者数10万人突破
 平成29年10月11日 受検者数11万人突破
 平成30年9月19日 受検者数12万人突破
 令和元年10月21日 受検者数13万人突破

受検種別割合



場所別受検者数割合



*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度末～R3年度にかけて、各施設での検定が「休止」→「再開」→「休止」となった。

23. 小野市詩歌文学賞・上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」

概 要

・小野市詩歌文学賞

平成21年、短歌フォーラムの第20回記念大会を機に創設。前年に発表された詩歌の分野において、最も優れたものを顕彰。

・上田三四二記念「短歌フォーラム」

平成元年、小野市出身の歌人故上田三四二氏の業績を称え、短歌の「上田三四二賞」を制定。全国でも屈指の投稿数を誇る短歌の公募賞。

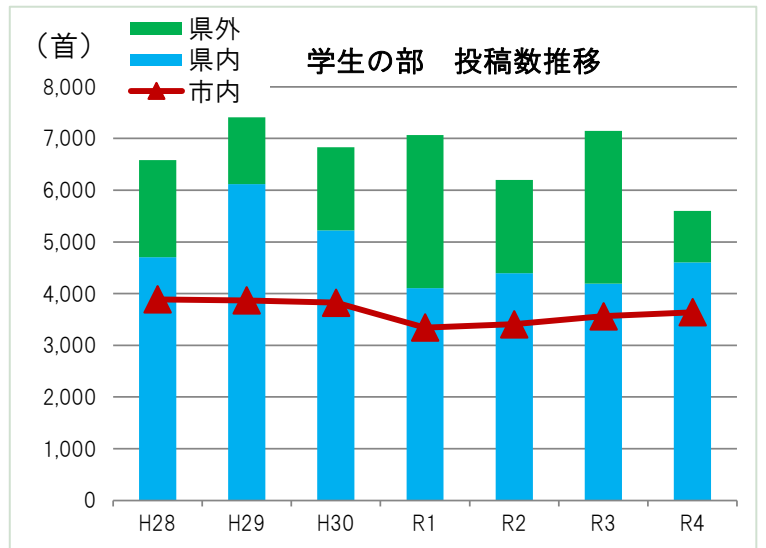
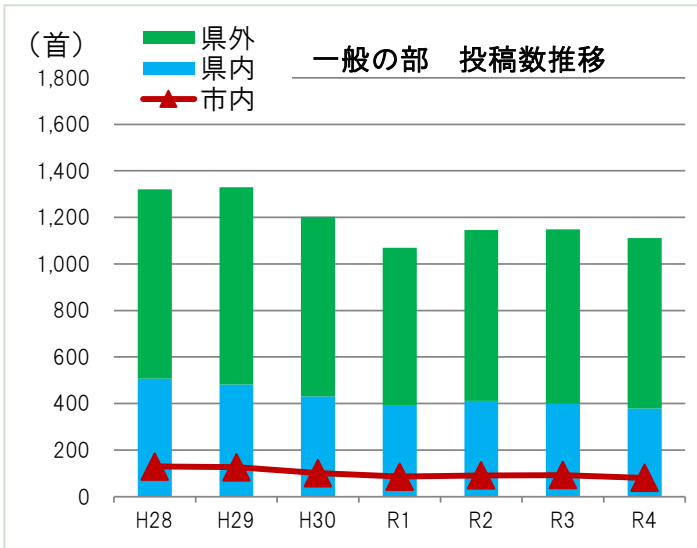
選考委員 馬場あき子(日本芸術院会員)、宇多喜代子(日本芸術院会員)、永田和宏(宮中歌会始詠進歌選者)

短歌フォーラム投稿者数

(首)

回数	一般の部			学生の部			合 計
	投稿数	県外	県内 (市内)	投稿数	県外	県内 (市内)	
27回 (H28)	1,321	814	507 (129)	6,582	1,876	4,706 (3,889)	7,903
28回 (H29)	1,330	848	482 (126)	7,409	1,291	6,118 (3,867)	8,739
29回 (H30)	1,203	772	431 (101)	6,832	1,610	5,222 (3,826)	8,035
30回 (R1)	1,070	677	393 (86)	7,069	2,964	4,105 (3,344)	8,139
31回 (R2)	1,146	735	411 (91)	6,196	1,799	4,397 (3,408)	7,342
32回 (R3)	1,149	749	400 (93)	7,146	2,953	4,193 (3,563)	8,295
33回 (R4)	1,111	733	378 (81)	5,599	993	4,606 (3,640)	6,710

※ () 内の投稿数は、市内投稿数再掲。



講演・対談

	平成30年		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
内容	狂言	鼎談	パネルディスカッション	対談	鼎談	講演	鼎談
テーマ	「萩大名」	「萩大名のおもしろさ」	「自分を表現する喜び」	「短歌・俳句と散文」	「小野市との20年を振り返る」	「滅びゆく日本語—その細道を辿れば—」	「小野市との20年を振り返る」
出演者	やまもと とうじろう 山本 東次郎 やまもと やすたろう 山本 泰太郎 やまもと のりしげ 山本 則重	やまもと とうじろう 山本 東次郎 ばば 馬場 あき子 うだ 喜代子 ながた かずひろ 永田 和宏	ばば 馬場 あき子 うだ 喜代子 ちばな 知花 くらら ながた かずひろ 永田 和宏	うだ 喜代子 つじはら のぼる 辻原 登 な が た かずひろ 永田 和宏 ※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	ばば 馬場 あき子 うだ 喜代子 ほうらい つとむ 蓬萊 務 な が た かずひろ 永田 和宏 ※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	つじはら のぼる 辻原 登	ばば 馬場 あき子 うだ 喜代子 ほうらい つとむ 蓬萊 務 な が た かずひろ 永田 和宏

小野市詩歌文学賞受賞者と作品

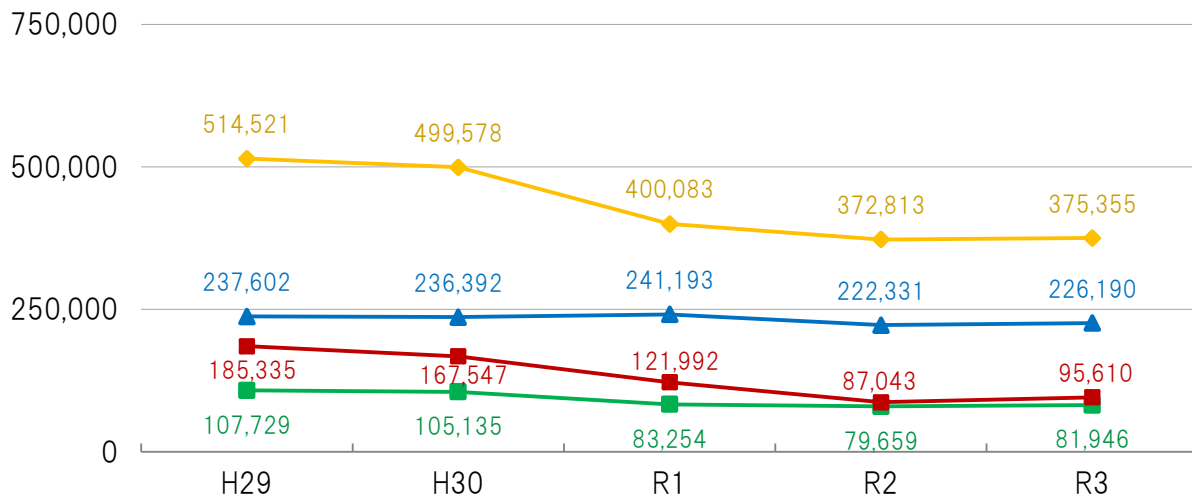
	第10回受賞者	第11回受賞者	第12回受賞者	第13回受賞者	第14回受賞者
短 歌	かわの さとこ 川野 里子 「硝子の島」	くり き きょうこ 栗木 京子 「ランプの精」	おおぐち りょうこ 大口 玲子 「ザベリオ」	しまだ しゅうぞう 島田 修三 「秋隣小曲集」	ひたか たかこ 日高 堯子 「水衣集」
俳 句	かい みちこ 權 未知子 「カムイ」	おかだ かずみ 岡田 一実 「記憶における沼とその他の在処」	はら まさき 原 満三寿 「風の図譜」	おおいし えつこ 大石 悦子 「百囀」	いのうえ ひろみ 井上 弘美 「夜須礼」

24. 図書館の概要及び利用状況

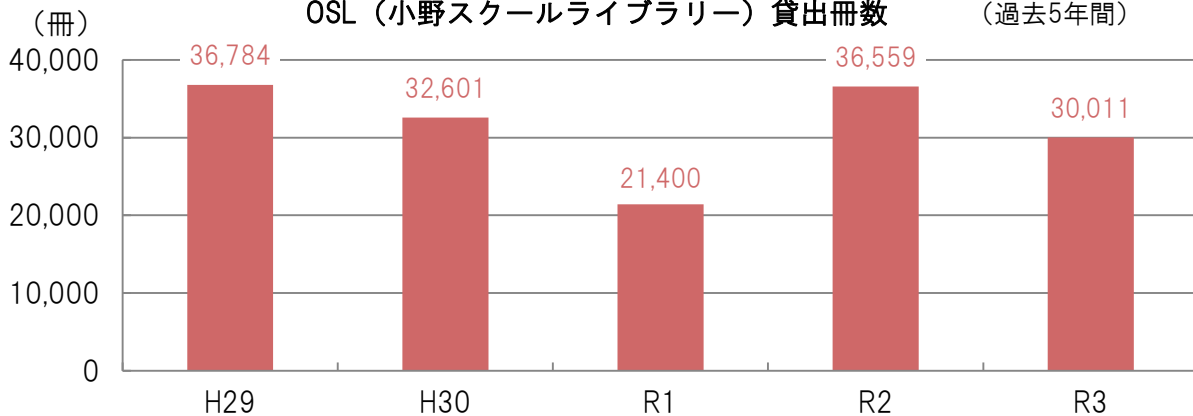
図 書 館			
利用時間	10時～18時 (ただし、サマータイム期間中(7月20日～ 8月31日)は9時～18時)	休館日	毎月第4火曜日(祝日の場合はその翌日)
			臨時休館(小野ハーブマラソン) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館 (4月25日～5月31日 ただし、5月17日～23日は 特別整理期間による完全休館)
			年末年始(12月29日～1月3日)
事業概要	お話し(館内・出前)英語でお話し・子どもの本限定リサイクルブックフェア・OSL(小野スクールライブラリー)・ブックスタート・サマースクール(体験型教室・感想文教室)・赤ちゃんタイム・クリスマス絵本バック・レコメン ドボード・テーマ展示(自由研究お助けコーナー・季節等)・変身セット(かいけつゾロリ)貸出・雑誌付録プレゼン ト・お楽しみ袋・歴史的音源配信・おのふるさとすごろく貸出・えほんおみくじ・図書館文芸部・読書週間イベント		

貸出冊数・貸出人数・蔵書冊数・入館者数の推移(過去5年間)

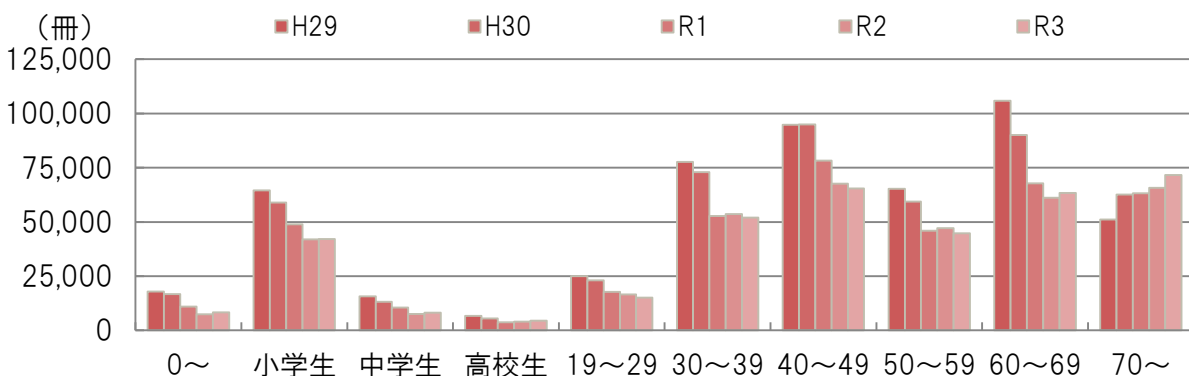
◆ 貸出冊数(冊) ■ 貸出者数(人) ▲ 蔵書冊数(冊) ■ 入館者数(人)



OSL(小野スクールライブラリー)貸出冊数(過去5年間)



年齢別貸出冊数(過去5年間)



25. コミュニティセンター等利用状況

	施 設 名	開館時間・休館日
1	コミュニティセンターおの	開館時間 9時～22時 (ただし、市民研修センターは宿泊がある場合17時～翌日10時) 休館日 12月29日～1月3日 ※市民会館は平成28年12月末で閉館
2	コミュニティセンターかわい	
3	コミュニティセンターきすみの	
4	コミュニティセンターいちば	
5	コミュニティセンターおおべ	
6	コミュニティセンター下東条 ・市民研修センター・下東条体育館	

(人)

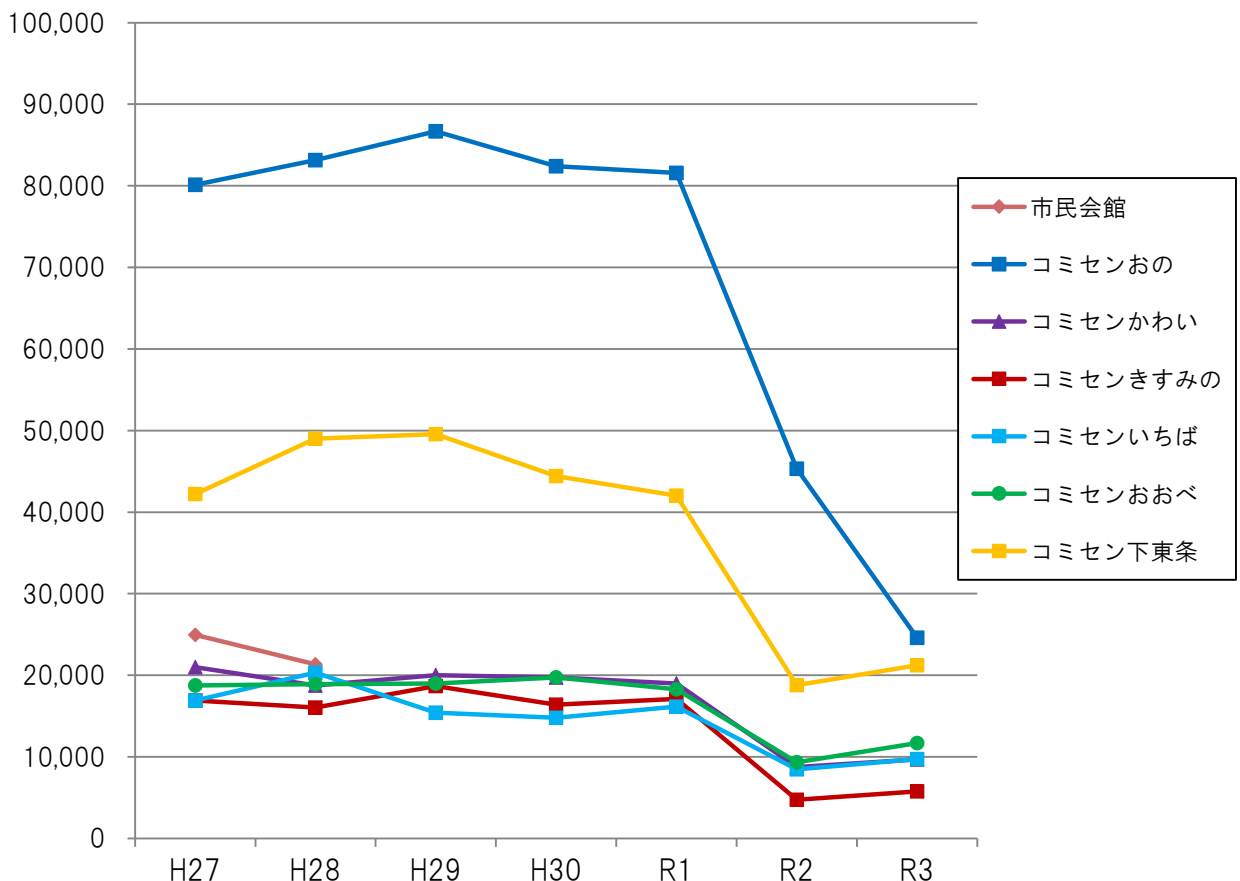
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
市民会館	24,945	21,362	-	-	-	-	-
コミセンおの	80,143	83,157	86,667	82,405	81,593	45,341	24,593
コミセンかわい	20,976	18,770	20,005	19,739	18,989	8,750	9,687
コミセンきすみの	16,901	16,037	18,690	16,385	17,119	4,750	5,763
コミセンいちば	16,924	20,312	15,425	14,811	16,172	8,459	9,744
コミセンおおべ	18,742	18,917	18,991	19,722	18,275	9,337	11,711
コミセン下東条	42,205	49,029	49,566	44,406	42,039	18,783	21,249
市民研修センター	(26,684)	(31,352)	(30,317)	(36,466)	(27,884)	(15,129)	(16,414)
合 計	220,836	227,584	209,344	197,468	194,187	95,420	82,747

※市民研修センターの数値はコミセン下東条の内数。

※市民会館は平成28年12月末をもって閉館。

(人)

各コミセン・市民会館・市民研修センター利用状況



26. コミュニティセンター事業

	地域コミュニティ推進事業（地域づくり協議会事業）	その他（生涯学習推進事業等）
コミセンおの	<ul style="list-style-type: none"> ・まち花いっぱい創造事業（春季・秋季2回実施） ・三世代交流グラウンドゴルフ大会 ※開催中止 ・夏祭り支援事業 ※開催中止 ・第17回小野陣屋まつり ※開催中止 ・広報誌「陣屋の風」発行（2回発行） ・クリスマスコンサート（1回実施） ・栗生線サポーターズくらぶ正会員補助事業（9名補助） ・神戸電鉄栗生線フォトコンテスト実施 ・防災研修会（1回実施）町別防災懇談会（2町実施） ・小野地区地域づくり協議会テーマソング作成 ・アマビエ看板作成・設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動（28団体） ・成人向け短期講座 自分みがき講座（1回実施） 初級手話講座（10回） ・子ども向け短期講座 初級子ども将棋教室（3回連続講座実施） サマースクール 8講座（習字、陶芸、工作等） ・シニアスマホ教室（1回実施）
分館	<ul style="list-style-type: none"> ・第17回小野陣屋まつり ※開催中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の寺子屋（6月～1月） ・分館自主事業（2講座7回実施：歴史探訪/センスアップ）
コミセンかわい	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動（JR2駅及びコミセンへの七夕飾り、クリスマス飾り及び正月飾り・花壇植栽管理など） ・かわいの大運動会 ※開催中止 ・かわい歌ごえ広場（2回） ※開催中止 ・かわいフェスタ ※開催中止 ・かわい歴史ウオーク（2回） ・かわい地区「みまわり隊」活動 ・安全・安心セミナー（1回） ・地域貢献事業（河合中学校グラウンド除草作業） ・機関誌及び広報誌の発行、HP運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動（21団体） ・成人向け短期講座 ヨガ教室（6回） ・子ども向け短期講座 サマースクール 5講座（工作、陶芸、ポスター等） 子どもパソコン教室、子ども書道教室 ・コミセンの寺子屋（6月～1月）
コミセンきすみの	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童見守り隊」活動 ・広報誌発行、ホームページへの情報提供（年2回） ・きすみの祭 ※開催中止 ・春季・秋季花いっぱい運動 ※春季開催中止 ・スポーツ活動（ソフトバレーボール大会・アジャタ大会他）※開催中止 ・きすみの歴史探足 ※開催中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動（16団体） ・成人向け短期講座（3講座 8回） ウオーキング4回、折り紙サロン3回、家事家計簿講座1回 ・コミセンの寺子屋（6月～1月） ・サマースクール 6講座（裁縫、陶芸、書道、工作等）
コミセンいちば	<ul style="list-style-type: none"> ・いちばふれあいの祭典 ※開催中止 ・ハミングウェイウオーキング事業 ※開催中止 ・地域美化・花づくり ・安全・安心通学路確保「児童見守り隊」活動 ・広報誌発行、ホームページでの情報提供等 ・市場地区三世代ふれあい囲碁ボール大会 ※開催中止 ・買い物支援事業 ・市場地区独居高齢者等昼食提供支援事業 ※開催中止 ・市場地区活性化計画（県民まちなみ緑化事業・花壇清掃作業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動（20団体） ・成人向け短期講座 しまんと新聞ばっぐ教室（1回） ・コミセンの寺子屋（6月～1月） ・サマースクール 5講座（工作、陶芸、パステルアート等）
コミセンおおべ	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りひまわりマスク熱海市（伊豆山）土砂災害義援金活動 ・美しいまちづくり（春季・秋季花苗の植栽） ・おおべ逆さ桜啓発活動（パンフレットの制作等） ・第16回おおべのショー ※開催中止 ・ふれあいのつどい ※イベントは中止し、作品展のみ実施 ・（新）おおべ未来塾（プログラミング、インドネシア交流活動） ・第15回桜づつみウオーク ※中止のため、逆さ桜啓発活動に変更 ・飛び出し君人形15体の製作 ※要望町に配布 ・広報誌「We Love おおべ」の発行（年2回） ・（新）「おのし だいすき！」写真展 ※ヒューマン共催 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動（31団体） ・子ども書道教室（8回実施） ・成人向け短期講座ヨガ（6回実施） ・優しさをみんなに届けるメッセージ ※ヒューマン共催 ・コミセンの寺子屋（6月～1月） ・サマースクール 4講座（将棋、陶芸、工作等）
コミセン下東条	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動（2回） ・第43回夏祭り ※開催中止 ・第49回体育祭 ※開催中止 ・第43回文化祭 ※サークル生の作品展示のみ ・ソフトボール大会 ※開催中止 ・バレーボール大会 ※開催中止 ・高齢者グラウンドゴルフ大会（1回） ・高齢者交流ゲートボール大会 ※開催中止 ・地域広報誌ふるさと下東条19号休刊 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動（28団体） ・コミセンの寺子屋 ※開催中止 ・サマースクール 6講座（陶芸、習字、工作等）

27. コミセンの寺子屋の実施状況

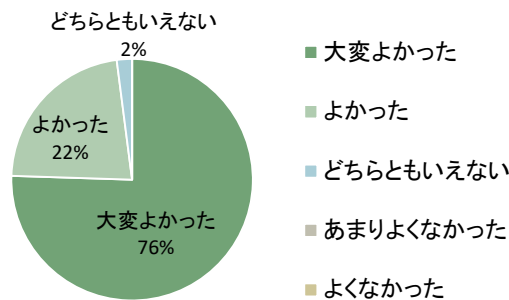
コミセンの寺子屋			
概要	子どもたちが地域の方々と一緒に学習や様々な活動を行うことを通して、心豊かで健やかに育まれることを目的に、各地区コミュニティセンターで「コミセンの寺子屋」を開設（小野地区は商店街の寺子屋）		
期間	令和3年6月21日～令和4年1月24日（小野地区は令和3年6月22日～令和4年1月25日）		
活動場所	各地区コミュニティセンター（小野地区はコミセンおの分館）		
利用時間	週3日（月・水・金）、15時～17時 ※来住地区は週1日（水） ※市場地区は週2日（月・水） ※小野地区は週3日（火・水・金）、15時45分～17時30分	対象者	地区内の小学1年生～6年生
		定員	1回につき最大15名（コミセン毎に異なる）
活動内容	宿題をはじめとする学習の習慣や英語遊び、昔遊び、工作など		

各コミセンの参加状況（令和3年度実績）

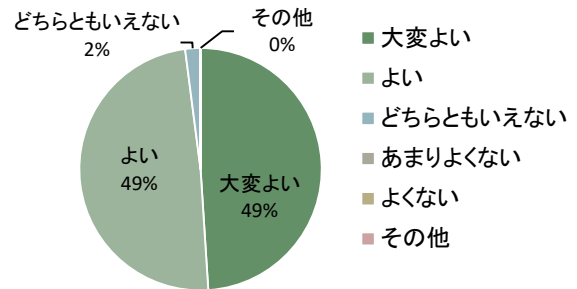
コミセン名称	おの	かわい	きすみの	いちば	おおべ	下東条
参加者	31	29	6	11	11	0
支援者	38	12	6	13	6	0

保護者アンケート集計結果（令和3年度実績）

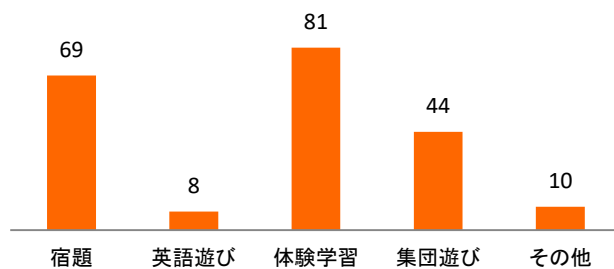
1. 寺子屋に参加させて



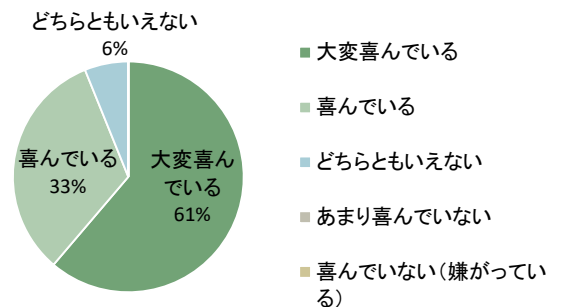
2. 学習内容について



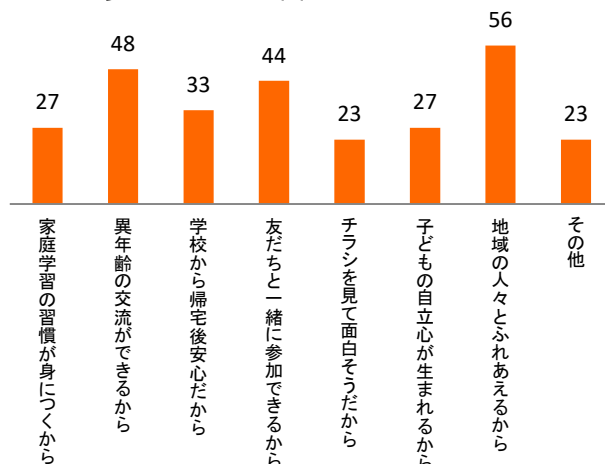
3. どの内容がよいか



4. 寺子屋に行くのを喜んでいるか



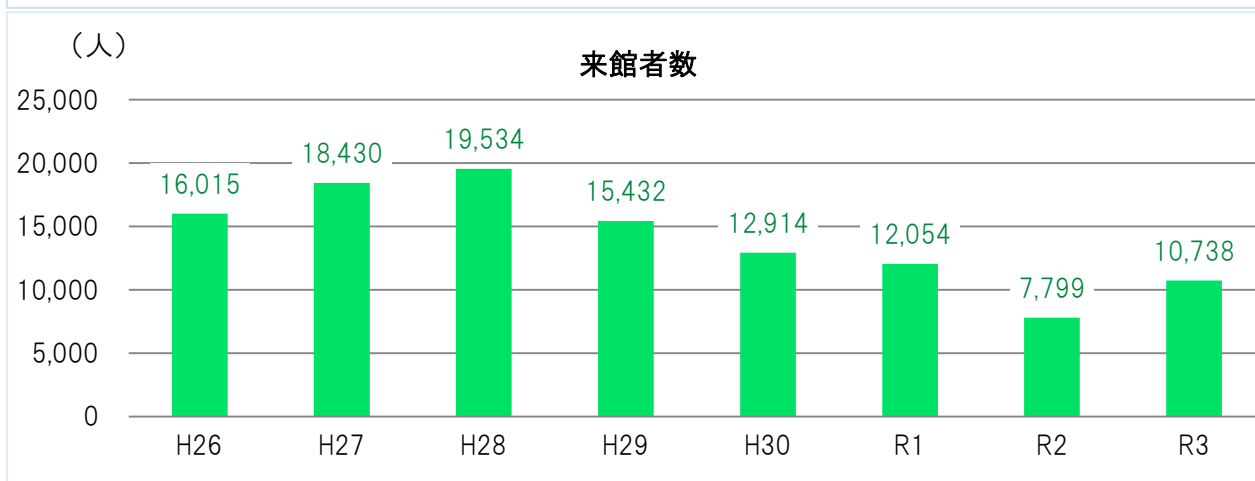
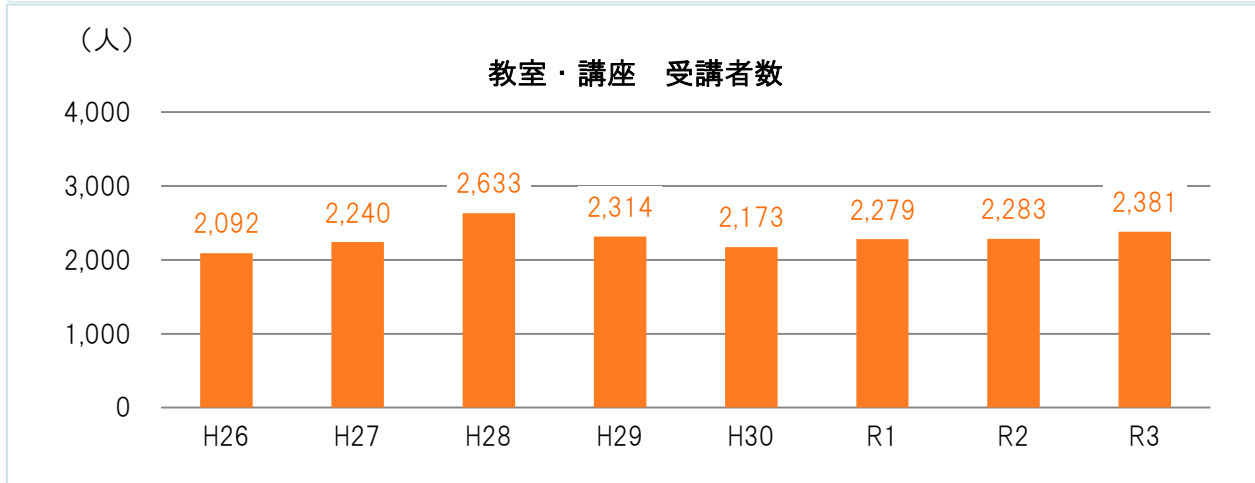
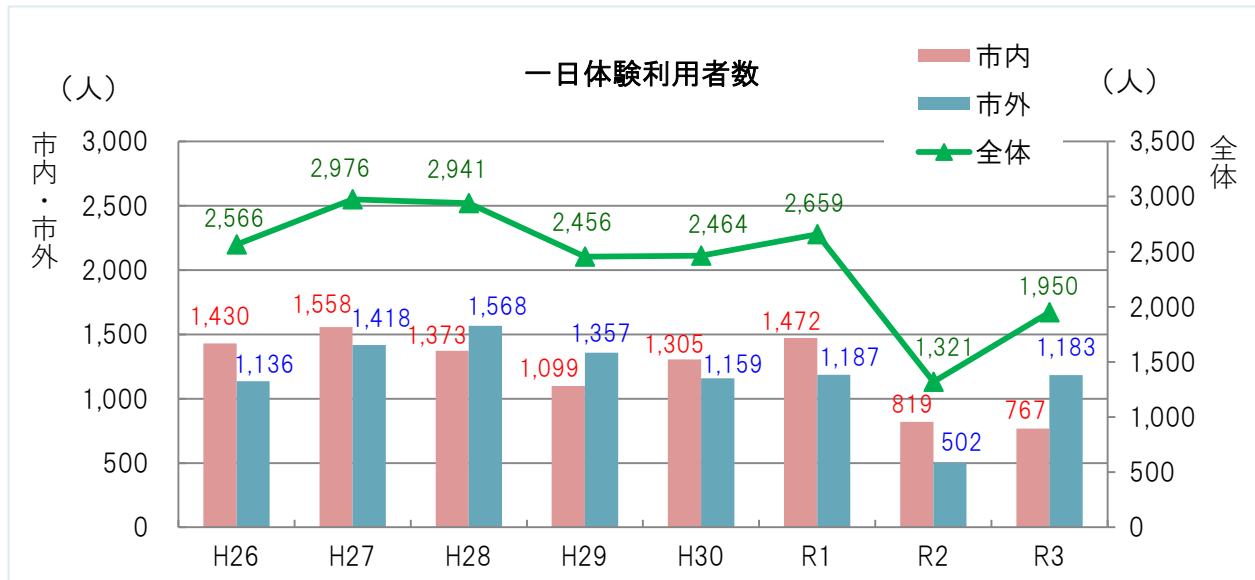
5. 参加させた理由



	児童数	保護者	回答	回答率
おの	31	22	13	59.1%
かわい	29	21	15	71.4%
きすみの	6	6	6	100.0%
いちば	11	8	7	87.5%
おおべ	11	10	7	70.0%
下東条	0	0	0	0.0%
人数合計	88	67	48	71.6%

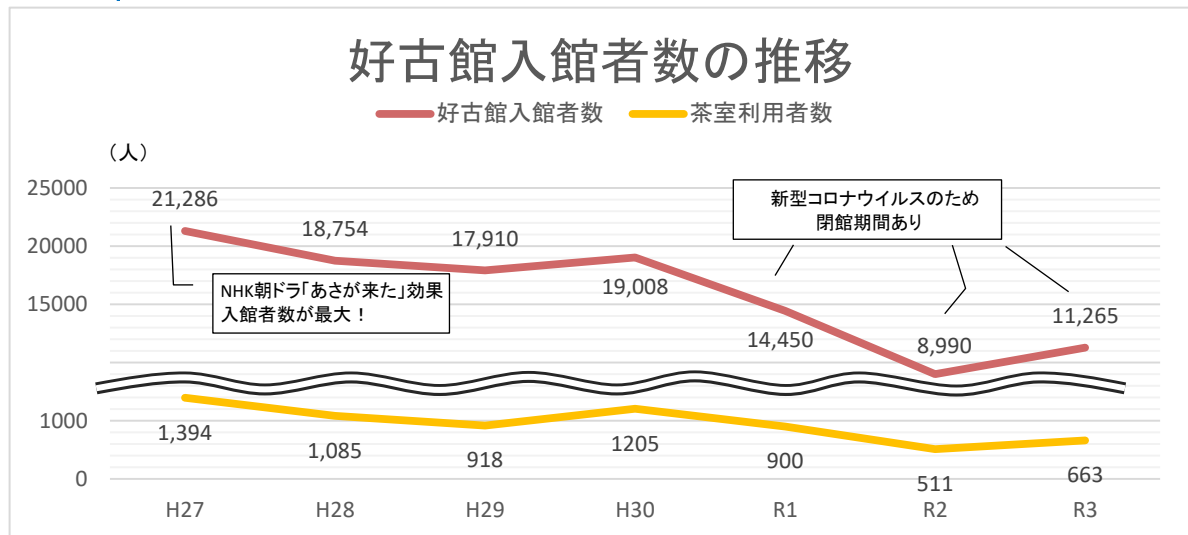
28. あお陶遊館アルテの概要及び利用状況

陶遊館アルテ			
開館日	平成20年4月1日	休館日	年末年始（12月29日～1月3日）
利用時間	全日　　9時～17時		
事業概要	一日体験コース（手びねり・絵付け・ろくろ・親子・子ども） 初心者教室（全12回）年間3コース　　短期講座（年間11回コロナ中止1回） 中級者教室（全12回）年間3コース　　サマースクール(3回)・ウインタースクール(コロナで中止) ろくろ教室（全12回）年間18コース　　陶芸まつり(コロナで中止)、手形足形（192名） ボランティア養成講座（全24回）1コース		



29. 好古館・広渡廃寺跡歴史公園の概要及び利用状況

好古館			
開館時間	9:30～17:00	休館日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始
事業概要	特別展（年1回）、企画展（年7回）、サマースクール（中止）、茶道教室（年20回×2クラス）、さくら茶会・観月茶会等の茶会事業（中止）、歴史体験（中止）、着付体験（中止）、指定文化財特別公開（中止）、歴史資料の収集・管理・調査研究、好古館だより発行（年3回）、博物館実習・トライやるウィーク受け入れ、埋蔵文化財の発掘調査、文化財保護委員会の運営、国史跡広渡廃寺跡歴史公園・金鐘城跡遺跡広場・堀井城跡ふれあい公園他の運営・管理		

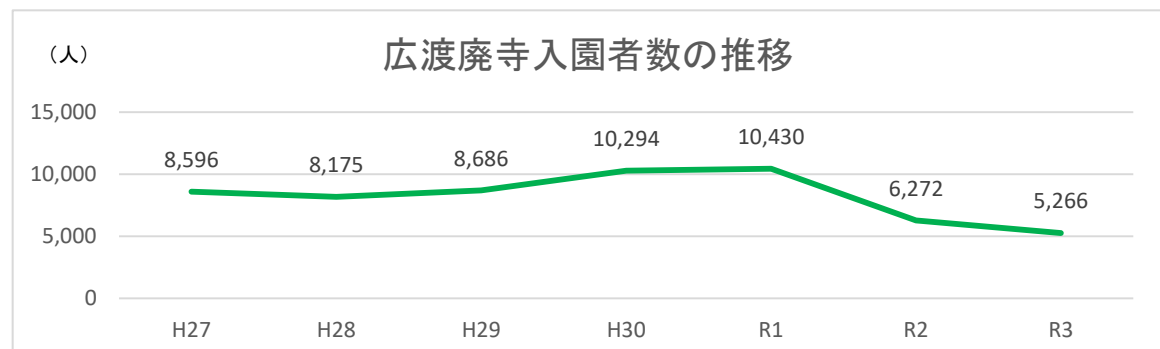


■好古館特別展入館者数

年度	テーマ	入館者数（人）
H27	江戸時代の産業経済の発達～小野市市場地区～	2,921
H28	くらしと祭りの移り変わり～市場地区の近現代～	1,849
H29	小野地区のあけぼの～発掘調査の成果を中心に～	1,702
H30	小野藩陣屋町と村のくらし～小野地区の江戸時代～	1,631
R1	祭りとからしの移り変わり～小野地区の近現代～	2,167
R2	知られざる浄土寺の至宝	中止
R3	知られざる浄土寺の至宝～来迎会衣装など初公開資料を中心に～	1,657

■企画展実施状況（令和3年度分）

行 事 名	開催時期	入館者数（人）
端午の節句飾り	4月～5月	135
古墳礼讃ー古墳ってこんなにあるのー	4月～9月	1,353
歌人・上田三四二～生涯と業績～	6月	267
いなみ野学園能面展	7月	166
ザ・昭和のくらし①ー懐かしい台所風景ー	12月～4月	7,697
第11回ビッグひなまつり	1月～4月	7,255



30. 新型コロナウイルス対策実績

○全国一律の臨時休校要請(R2年2月27日)に対する地域の実情を踏まえた市内小中特別支援学校の開校継続(同年3月11日まで)

○市内医療機関での感染確認を受け、3月12日から休校。ただし、共働きやひとり親など、仕事で自宅待機をさせることができない家庭の児童・生徒については、6月1日の学校再開まで小中学校で受入れ(給食も実施)

○感染者の県内での減少及び近隣地域で皆無の状況を鑑み、感染症対策に十分配慮しながら5月19日から分散登校を開始。その後5月21日に国の緊急事態宣言が解除された後も分散登校を継続。6月1日から「3密」を可能な限り避け、新たな生活様式を実践しながら通常の教育活動を再開

○「夏休みゼロ宣言」をベースとした学習機会の確保(R2年度)

～感染対策と熱中症予防の徹底～

[ソフト事業]

- ・夏休み期間の短縮(8月8日～16日の9日間は休み)
- ・小学校下校時にスクールバスを14台運行(概ね2km以上対象)
- ・冷感タオルを児童生徒1人1本ずつ配付
- ・消毒液、非接触型体温計、経口補水液等を市内全学校園に配備
- ・学び支援として小中学校に学習指導員等を配置(14人増員)

[ハード事業]

- ・整備済の普通教室、特別教室の空調に加え配膳室や相談室等にも空調を増設(49基)
- ・体育館にスポットクーラー(36台)、大型扇風機(40台)を配備。
また、製氷機を未設置の学校園に設置(11台)

○保護者負担軽減のため本来の夏休み期間の給食費を免除(R2年度)

○「GIGAスクール構想」の早期実現と遠隔学習環境の整備(R2年度)

- ・子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びと、創造性を育むことができる教育環境を実現させるために、高速大容量のネットワークを前提とした児童生徒1人1台の学習用コンピュータ(総数4,586台)を前倒して整備
- ・家庭学習用モバイルルーターや授業配信用カメラ等を購入し、新型コロナウイルス感染症対策による休校措置に対応できるよう機材を整備

○学校感染症対策及び学習保障取組支援(R2年度)

- ・学校規模、実情に応じて200万円～500万円/校を支援
- ・保健衛生用品、換気・分散授業等3密対策に要する経費
(主な購入品)

空気清浄機	加湿器	プロジェクター
ディスプレイ	網戸	飛沫防止対策アクリル板
アルコール噴霧器	ホワイトボード	ワイヤレスマイク

○幼稚園感染拡大防止対策(R2年度)

- ・市内2園に対し、100万円/園を支援
- (主な購入品)

アルコール消毒液	空気清浄機	感染防止パネル
----------	-------	---------

○市内全学校園にマスクをR2年3月に2万2千枚、同年5月に2万5千枚を無料配布

○R2年6月1日からの学校再開に向け、市内全学校園に対し、市民より次亜塩素酸水を毎週300Lを上限に無料提供を受ける。(R4年6月まで)

○小野ハーフマラソン2020の開催中止に伴う代替イベント「Ring of Red オンラインマラソン」(R2年12月実施)を支援

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小野陣屋まつり、小野市詩歌文学賞・上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」を中止(R2、3年度)

○所管する公共施設(図書館、好古館、あお陶遊館アルテ、各地区コミセン、市民研修センター、下東条体育館、総合体育館アルゴ、匠台公園体育館アクト、小野希望の丘陵上競技場アレオ、大池総合公園(野球場等)、河合運動広場(テニスコート等))について、国の緊急事態宣言等を受けて、一定期間利用制限を実施(R2、3年度)

○感染症対策等の学校教育活動継続支援(R3年度)

- ・学校規模、実情に応じて64万円～181万円/校を支援
- ・保健衛生用品、換気・分散授業、教職員研修等感染対策及び学校教育活動の継続に要する経費
(主な購入品、経費)

消毒液	ビニール手袋	衝立
研修	CO2濃度測定器	著作権使用料
電子ホイッスル	サーキュレーター	タブレット型サーマルカメラ

○幼稚園感染拡大防止対策(R3年度)

- ・市内2園に対し、50万円/園を支援
(主な購入品)

マスク

パーテーション

ハンドソープ

※R4年度対策

- ・学校等における感染症対策等支援として学校規模に応じ90万円～360万円/校を支援する。
- ・幼稚園感染拡大防止対策として1園につき50万円を支援する。
- ・図書館にICタグを導入する。

事業（業務）名	学校施設長寿命化対策事業	担当課	教育総務課
<p>（１）現状及び方針</p> <p>市内の学校では、大半の建物で耐震補強や大規模改修等を行ってきたところであるが、未実施の建物では特に老朽化や機能低下が顕著にみられ、園児・児童・生徒が安全で快適な環境のもとで教育を受けられるよう計画的に改修を進めていく必要がある。</p> <p>このような中、平成30年度には、改修や改築の方向性、優先順位等方針を定めた小野市学校施設長寿命化計画を策定し、今後、学校施設整備はこの計画に基づき実施していくこととする。</p>			
<p>（２）取組状況と成果</p> <p>小野市学校施設長寿命化計画に基づき、令和元年度末に小野南中学校長寿命化事業に着手、本年度は、校舎Ⅱ期工事と体育館Ⅰ期工事を実施した。校舎については、予定どおり11月末に完成し、3学期から新しい校舎で学校生活を迎えることができた。体育館については、6月に契約を締結し、Ⅰ期工事として、屋根改修、外壁塗装、アリーナの照明灯取替工事を本年度に終わることができた。その他トイレ改修、武道場改修、テニスコート改修、駐車場舗装等についても工事を継続中で工程どおり進捗しており、Ⅱ期目となる令和4年5月完成を予定している。</p>			
<p>（３）評価（課題）</p> <p>○特に大きな事故、トラブルもなく適正な工程管理のもと、計画どおり校舎の完成を迎えることができた。3学期から校舎を供用開始でき、9年生にとっては1学期間だけではあるが新しい校舎で貴重な時間を過ごすことができた。体育館についても、生徒や学校関係者が安心して学校生活が送れるよう安全面において十分に配慮されており、危機管理徹底のもと円滑に工事が進められ、校舎同様、評価できる。</p> <p>◆工事も残りわずかではあるが、引き続き、安全施工を徹底し、適正な施工に努めていただきたい。</p>			
事業（業務）名	学校施設整備事業	担当課	教育総務課
<p>（１）現状及び方針</p> <p>市内各校・園の建物は、昭和40年代から60年代に建築されたものが多く、耐震診断に基づき耐震補強や大規模改修等により整備を行っているが、老朽化や機能低下がみられる建物、設備等もまだ多く残っている。</p> <p>そのような建物では、大規模改修までの間、小規模な修繕や予防的な措置、計画的な設備の更新等で対応している。</p>			
<p>（２）取組状況と成果</p> <p>教育環境整備及び災害時指定避難所設定による機能確保の観点から、誰もが使いやすいトイレとするため、平成28年度から各校トイレ洋式化工事を進めている。本年度は、小野小学校、河合小学校、大部小学校、下東条小学校において洋式化工事を実施し、市内学校・園のトイレ洋式化率は81%となった。引き続き来住小学校、市場小学校、中番小学校、小野特別支援学校について洋式化工事を実施し、これをもってトイレ洋式化事業を完了とする。なお、河合中学校と旭丘中学校のトイレは、今後予定する長寿命化対策事業の中でトイレを洋式化する。</p> <p>その他、小野小学校廊下のシート貼替工事、大部小学校移動式黒板への取替工事等学校環境改善のための整備を実施した。</p>			
<p>（３）評価（課題）</p> <p>○トイレ洋式化については、生活様式の変化への対応や災害時等における地域拠点としての役割からも学校・園にとって必要な整備であり、学校環境改善に大きく寄与する事業である。平成28年度より、市内全校・園に対し計画性をもって、円滑かつ効果的に事業が進められている。</p> <p>◆引き続き、園児・児童・生徒が、安全安心に学校・園生活が送れるよう、トイレ洋式化をはじめ施設の修繕を迅速に進めていただきたい。</p>			
事業（業務）名	新型コロナウイルス対策	担当課	教育総務課
<p>（１）現状及び方針</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大が繰り返され、コロナ禍における学校生活も長期化する中、一人ひとりの学びの機会を失うことなく、切れ目のない教育が継続できるよう、より効果的で実効性のある感染対策を実施していく。</p>			
<p>（２）取組状況と成果</p> <p>国の補助制度「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」を利用し、感染対策に直接寄与する消毒液等消耗品の購入や感染対策を実施することにより必要となる学習保障のための備品等の購入に取り組んだ。</p> <p>また、令和2年度における夏季休業期間短縮により研修機会を逸した教職員については、同補助制度を活用した、資質向上を図るための研修等に積極的に参加するなど、自己研鑽に励むことができた。</p>			
<p>（３）評価（課題）</p> <p>○全国の学校で新型コロナウイルス感染拡大がみられる中、当市においても一部の学校で部分的な感染の広がりが確認された。子どもたちの健康、学習面における影響も懸念されたが、大きな混乱もなく、学校内での感染対策が徹底されていることから、限定的な学級閉鎖で抑えることができた。</p> <p>◆しかしながら、感染拡大の終息が見通せない状況に変わりはなく、子どもたちへの教育に極力影響がでないよう、引き続き、徹底した感染症対策を講じていただきたい。</p>			

令和3年度事業評価

事業（業務）名	（緊急）新型コロナウイルス感染症対応	担当課	学校教育課
（１）現状及び方針 新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて、感染の終息が見通せない状況の中、感染状況を注視しながら、柔軟な対応で学校運営が求められた。（令和2年度～3年度） 児童生徒、保護者、教職員、学校にかかわる関係者の生命・健康を保護するとともに、学校における教育活動の実施への影響を最小にする。			
（２）取組状況と成果 4月 辞令交付式は縮小開催。感染症対策を実施した上で、可能な限り、教育活動を展開する方向で新年度スタート。 感染の急拡大に伴い、中番小学校で2学級を学級閉鎖措置。家庭訪問・授業参観の見合わせ。 4月25日～緊急事態宣言の発令に伴い、小学校等の運動会、中学校の修学旅行等の学校行事の延期を決定。 6月 6月20日緊急事態宣言解除に伴い、オープン・スクール等の学校行事を感染症対策を行った上で再開。 8月 8月20日緊急事態宣言の再発令。体育祭・運動会のリモート開催等の対応。修学旅行・自然学校の延期・日程調整。 10月 9月30日緊急事態宣言の解除に伴い、修学旅行・自然学校（2泊3日）、トライやるウィーク等の学校行事を再開。 12月 市内小・中・特別支援学校の修学旅行、自然学校を完遂。感染症対策を行った上で、可能な限り、通常の授業を実施。 1月 1月中旬頃から感染が再拡大し、1月27日まん延等防止重点措置。5校6学級で学級閉鎖を実施。 学級閉鎖した学級のオンライン授業、個別の自宅待機児童生徒等とのコミュニケーション、学力保障を各学校で対応。 3月 卒業式 規模を縮小して実施。			
（３）評価（課題） ○基本方針として、「学校における学びを止めない」という方針のもと、感染状況を見ながら、可能な限り、通常の教育活動が維持できるように、教職員、児童生徒、保護者が一体となって取り組み、修学旅行の完遂等も実現できた。 ◆感染状況に注視した柔軟な対応を行いながら、感染の収束後を見据えた学校運営の研究を進めること。			
事業（業務）名	夢と希望の教育の推進	担当課	学校教育課
（１）現状及び方針 Society5.0（超スマート社会）へむけて、新たな学びのスタイル構築を進めていくことが求められ、多様な課題に対して、重点化を図りながら取組を推進する。			
（２）取組状況と成果 ○脳科学 川島隆太教授講演会は、5年生児童のみを対象に11月2日実施。GIGAスクールプロジェクトへのアドバイス。 11月1日、小野市の「夢と希望の教育～脳科学と教育～」について、近畿地区市町村教育委員会連合会研修会で発信。 ○「おの検定」 認定証をシール方式に変更し、全面改訂テキストをもとに、基礎学力・意欲を高め、自立した家庭学習習慣を確立。 ○小中一貫教育 各校区で可能な限りの実践と研究を行った。到達度テストを分析し、学力補充へ。 ○16か年教育 就学前の子育て教室を一部実施でき、啓発の重要性を再認識した。「新たな幼稚園」のあり方を協議・共通理解。 ○外国語教育 12月全ALTの来日が終わり、ALTと協働し、専門性を生かし、小中のつながりを意識した英語教育の研究。 ○理科教育 サイエンス祭 中止。（中村ブース・上橋（栗岡氏の後任）ブースは実施）			
（３）評価（課題） ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けながらも、川島隆太教授講演会ははじめ可能な限り実施できた。 ◆脳科学の知見を取り入れた教育、「新たな幼稚園」、サイエンス祭等、焦点を絞った研究・実践の再開を進めること。 特に、スマートフォン等とのかかわり方、読書活動のすすめについて、重点的に取り組むこと。			
事業（業務）名	GIGAスクールプロジェクトの推進	担当課	学校教育課
（１）現状及び方針 新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて、令和2年度末までに整備が完了した一人一台端末を活用した教育研究を開始した。Society5.0の社会を目指し、情報活用能力の育成・それを生かした思考・判断・表現力を高める新たな教育スタイルの実践研究を行う。			
（２）取組状況と成果 4月23日 全児童生徒へアカウントを配布 5月 校長会にて、小野市型GIGAスクールプロジェクトの方向性、研究の柱を共有。 6月1日 「学力向上推進委員会」で授業研究の開始（授業実践提案シートの作成について提案・共有） 7月 授業支援アプリケーションの研修 ⇒全教職員が「脳を働かせるしかけ」を意識した端末を活用した授業を実施。 9月 教育行政顧問川島隆太教授からのアドバイスを共有（ツールとしてリテラシー育成） 10月 緊急時持ち帰り試行 11月 夢と希望の教育推進委員会・リーダー研修 1月～3月 学級閉鎖の学級（6学級）でオンライン授業を実施 ※感染拡大によりオンライン会議等の積極実施。 ※オンライン授業も、児童生徒も保護者も教職員も協力し、円滑で、表情豊かにコミュニケーションできる授業を実施。			
（３）評価（課題） ○端末整備を受けて、目的を明確化した活用研究と緊急時の持ち帰り・オンライン授業実施を行った。 ◆収集した授業実践提案シート（250事例以上）をもとに、効果的な活用のあり方の研究を一層推進すること。			
事業（業務）名	情報共有システムの活用	担当課	学校教育課
（１）現状及び方針 『小野市いじめ等防止条例』に基づく報告様式（校務支援システムによる4号報告）、市長報連相システム、不登校報告等により、いじめ・問題行動、虐待、不登校などへ組織的対応体制を確立する。			
（２）取組状況と成果 校務支援システムによる4号報告、報連相報告等のシステムが定着してきた。不登校について、データ管理を行い、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によるものか不明であるが、増加傾向が継続している。			
（３）評価（課題） ○校務支援システム構築（平成29年度）から5年目に入り、4号報告の活用が定着している。 ◆増加傾向にある不登校支援をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、児童生徒の心身の状況を十分に把握し、事前対応、早期発見、早期対応ができるようにし、児童生徒の学びを支援すること。			

令和3年度事業評価

事業（業務）名	小野市文化財保存活用地域計画作成事業	担当課	いきいき社会創造課（好古館）
<p>（１）現状及び方針</p> <p>○「文化財」は、先人による不断の努力により現在にまで継承されており、我々世代は後世へと継承する責務がある。しかし、人口減少時代を迎え、文化財を守り、伝える人材が減少しており、この課題に先手管理で取り組むために「文化財保存活用地域計画」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度：文化財悉皆調査 ・令和4年度：文化財保存活用地域計画素案の作成 ・令和5年度：文化財保存活用地域計画の完成 			
<p>（２）取組状況と成果</p> <p>○令和3年度は地域計画作成のため、有識者や市内の関係団体の代表、庁内の関係部署からなる協議会を設置し、地域計画の内容について検討を進めた。</p> <p>○市内文化財の全貌を把握するための悉皆調査を行うにあたり、各町区長と連携し、「好古人」（文化財調査ボランティア）の協力を得ながら、市内6地区50町にある88カ所の仏堂について、仏像406体、その他文化財394点を調査した。</p>			
<p>（３）評価（課題）</p> <p>○令和3年度中に、膨大な市内悉皆調査を完遂したこと、並びに、今まであまり目を向けられることがなかった地域の文化財を掘り起し、地域住民が故郷に誇りを持ち郷土愛を育む取組である。</p> <p>◆今後、さらに検討を進め、本市文化財の特性を活かした地域計画を作成し、地域の方との協働による文化財の保存と活用を進めていくことを期待する。</p>			
事業（業務）名	図書館事業	担当課	いきいき社会創造課（図書館）
<p>（１）現状及び方針</p> <p>市民の「知」の拠点として、書籍などを通じ多種多様な情報を提供し、生涯学習をサポートする。</p>			
<p>（２）取組状況と成果</p> <p>○図書館では、毎月下記事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①館内お話し会：ピッピお話し会（第1・3土曜）、お話し会（第2・4土曜）、英語でお話し会（第2日曜） ②出前お話し会：市内各保育園・所、こども園、幼稚園計13校園（適応教室含）・所で実施 ③OSL：市内小学校・幼稚園・教室の各クラスに団体貸出（計9校・2園・1教室） ④文芸部展示：小野高文芸部がテーマを決めておすすめの本を展示 ⑤図書館展示：その時季に合ったテーマを決めておすすめの本を展示 ⑥読書週間等イベント：「お楽しみ袋」「自由研究・読書感想文お助けコーナー」「マナーアップキャンペーン」「クリスマス展示」等 ⑦図書館ボランティア活動：書架整理、朗読、本の修理等 			
<p>（３）評価（課題）</p> <p>○4月25日～5月31日は新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言により休館したが、休館期間中も予約資料の貸出を行い、市民サービスの維持に努めた。</p> <p>○開館中は十分な感染防止対策のもと、自動消毒噴霧装置も活用し、文芸部やボランティア等と連携しながら市民の読書活動を推進するための多種多様な取組を毎月提供したことは評価できる。</p> <p>◆今後は、参加者増に向けた館内お話し会の更なるPRや大人向けのイベントの開催、また、川島隆太先生の脳科学理論に基づく幼児期からの読書習慣付けに努められたい。</p>			

令和3年度事業評価

事業（業務）名	「ひまわりカード」活用による朝食摂取調査	担当課	スポーツ振興課
（１）現状及び方針			
脳科学に基づく研究から、「バランスの良い朝食摂取」は脳を活性化させるため、学習効果が向上し、子どもたちの夢をかなえる近道になると報告されている。そこで、小野市学校食育推進委員会として、平成21年度より、ひまわりカードを用いた「バランスの良い朝食摂取状況調査」を実施し、小野市の子どもたちが夢に近づくための一歩として実施している。また、家庭科の授業実践や栄養教諭による「出前授業」や専門家を招いての「ごはん塾」「豆腐づくり体験」など、食育の指導と実践の研究に取り組む。			
（２）取組状況と成果			
<p>○令和4年1月に実施した第2回「ひまわりカード」の調査では、バランスの良い朝食摂取率は最も高い「幼稚園」で73.1%であり、目標値である70%に到達した。</p> <p>○全体の平均は67.2%と目標値には届かなかったが、第1回（令和3年7月）の調査結果より、すべての校園種において、バランスの良い朝食摂取率が向上する結果となった。</p> <p>○「おうち時間が増え、今まで簡単にすましていた朝食を見直す良いきっかけとなった。」といった保護者の声が届いた。</p>			
（３）評価（課題）			
<p>○「5日間連続朝食摂取」については、第2回の全体平均が95.3%であり、かなり浸透している。</p> <p>◆「バランスの良い朝食摂取」となると、全体平均が67.2%にとどまっている。特に中学生では62.5%と低く、継続課題である。</p> <p>◆目標値70%達成のために、脳科学に基づく食育効果をさらに発信し、摂取率向上のための取組にさらに工夫を加えて推進していく必要がある。</p>			
事業（業務）名	小野ハーフマラソン開催事業	担当課	スポーツ振興課
（１）現状及び方針			
万全の感染対策で、ランナー、ボランティア、市民、スタッフが安心して参加できる大会運営を行った。開催に際しては、新庁舎完成に伴うレイアウト変更を行い、新しいスタイルを構築して無事開催することができた。今後も、安全・安心な冬の”おの恋”として、実行委員会組織を中心に、市民参画型のマラソン大会へ新たなチャレンジをしていく。そして、市民参画型の生涯スポーツ事業を展開し、市民の健康づくりと地域の活性化を図り、「住むならやっぱりおの」を体現する。			
（２）取組状況と成果			
<p>○北は北海道、南は宮崎県から、そして、何より兵庫県下41市町すべてから、約3,900人の参加があり、ランナーからは、概ね久しぶりの公道レース開催に感謝する声が聞かれた。</p> <p>○大会開催による感染拡大や、救急搬送するような大きな事故もなく、無事終了することができた。</p> <p>○今後も、ウィズコロナ・アフターコロナ社会に対応した大会とするための調整及び準備等に生かしていく。</p>			
（３）評価（課題）			
<p>◆大会終了後のボランティアスタッフや参加者の声を、可能な限り大会運営に反映させるとともに、さらに安全で魅力的な大会とするために、新たな企画・立案に取り組むこと。</p> <p>◆ランナーへの安全対策を充実させるとともに、コース周辺住民の不便を最小限に抑える交通規制の実施を目指すこと。</p>			
事業（業務）名	ハートフルウォーキング事業	担当課	スポーツ振興課
（１）現状及び方針			
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年間8回すべてのウォーキング事業を中止とした。代替の取組として、ウォーキングコースを情報発信した。来年度の3年ぶりの通常開催に向け、引き続き、関係各機関・団体と連携しながら、安全・安心で、新たな企画やコースを立案するなど、事業内容の向上に向けて取り組む。			
（２）取組状況と成果			
<p>○代替の取組として、市HPでウォーキングコースを紹介・情報発信した。</p> <p>○3密をさけながら個人で運動する場として利活用することにより、市民の運動不足解消を図り、コロナ禍における健康二次被害防止について啓発した。</p>			
（３）評価（課題）			
<p>◆一昨年度までの改善点を踏まえ、ウォーキング事業を委託している「歩人会」が主導となったイベントの開催を目指すこと。</p> <p>◆ウォーキング全体として、市外の参加者に比べて市内の参加者が少ないため、地域づくり協議会・神鉄観光・観光協会等との連携を強化して、市民参画を得ながら、地域の魅力を再発信するとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ社会に対応した運営を目指す必要がある。</p>			

学校危機管理(事件・事故)連絡体制

小野市教育委員会

